經濟事情は

果して許すか

マーキョスへて居ない機なり敷である ▼…・財政の方針からすれば、無識 ればならぬ。歳人不定を赤字公能 ればならぬ。歳人不定を赤字公能 のなられば、無論

當局の否認的口吻

、列強に比し著しく劣つてある して記上する意識の如くであるに遺憾なきを期する は一臓二干萬圓程度を新規要求と 事の際における新式資材の操作 は一臓二干萬圓程度を新規要求と を以て補塡することに依つて有 當て五ケ年総骸事業とし明年度に

五ヶ年繼續事業とし

明年度は一億二千萬圓

流药

でしましたが、僕自身は 一般ではあり、お話の 歌がではあり、お話の 歌がではあり、お話の 歌がではあり、お話の 歌がではあり、お話の 本ないであらうから、そのやうな れないであらうから、そのやうな れないであらうから、そのやうな れないであらうから、そのやうな れないであらうから、そのやうな ながきがこれに参加したとは思は かないであらうから、そのやうな としていななく他の名目で には、 であではあるべく事を確便に取ば では、 である。

を これに加はることは 覚成し難いと これに加はることは 覚成し難いと で子 いで天 いいで 天 いいで 大 の 注 前 で いっさい で 大 の 注 前 で いっさい で 大 いい と

は参加拒絕 黨代表こして 鈴木總裁首相の懇請拒絕



見送りませう

白衣勇士凱旋

ばいかる丸十日午前十時

連入港豫定)天津基督教青年會たこま丸船客(十一日

十日午前十時はるびん丸

政友會は斷然不參加

「、國同一で衆藤院大であつ。総殿のまゝ保留する事になるかも 「、國同一で衆藤院大であつ。総殿のまゝ保留する事になるかも 「東殿の制器は、紫初重記長 り一名は水野郷太郎氏に交渉し、 したが候補者鍛飾の經鑑左の如く 大学になるから、 「大学になるから、 「大学になるから、 「大学になるから、 「大学になるから、 「大学になるから、 「大学になるから、 「たが候補者鍛飾の經鑑左の如く 「高田幸文郎(内語) 「本語) 「本語)

日中に顔ぶれを内定

芸る四月二十

察に赴いた

低の上多年

紹介著書

リ顧問の滿洲

公使館昇格

有吉公使歸任後實現

■伊賀歌吉氏〈大阪海上火災事務〉

昌二氏(關東軍經濟顧問)

田芳太郎氏(吉田商店社長)商務官)同上の原務官)同上のでは(東京カナダ公使

国)司上 産治氏(東京カナダ商務官 で来連

氏(第一生命保険刑長)

字街

(64)

勝太郎氏(野村生命專務)

・ 大ある 満洲國外交部顧問プロンソートある 満洲國外交部顧問プロンソートの優立性を諸外國

《新京電話》藏洲建國以來終始滿

郎氏(大阪海上保険取締 一氏(第1生命相互秘書役)

アメリカで好評

ン・リー氏は最近アメリカにおい

争惣次郎氏(東洋紙袋取締役)

共產軍

親日擬態の暴露

用下中の共産

雲南省境に迫る

滕一郎氏(承德稅關長)同上

耐战氏(前大連市會議員)

郎氏(大連档業銀行重役) 氏(大連獨院產婦人科醫

でにて九日午後八時変列車にて出 でにて九日午後八時変列車にて出 でにて九日午後八時変列車にて出 廣軌線を視察

陸士視察團赴旅

△郎氏(大阪府土木主事)

五十分大連談成順へ向つたが同地以下三百七十八名は九日午前七時 跡を見學の上、午後三時四十五 一時出戦の定期版で離滅の豫定の際定場では、別東倉庫に一泊、十日午 工官學校満鮮視祭團末松中將 氏(大阪府會議員)同

滿鐵追加豫算を計

連選東ホテルへ 日午前八時四十分着列車にて 遊輸二氏(辰馬汽船營業部長)同田直造氏(電々營業部長)同 中佐)同上内地へ繁三氏(關東軍司令部所、 前九時酸あじあにて新大佐(旅順要港部軍艦長)

▲大橋頼三氏(涼嶽無順炭礦製油工場長)同上属任工場長)同上属任工場長)同上属任工場長)同上属任工場長)同上属任工場長)同上属任工場長)同上属任

に引つこすって騒ぎなり

常居氏(大東公司社長) 三氏(横洲電業顧問)同上

イヤと首を振つてるのもある。 先づ並べて見た古人形、コッ 體裁はいいが黴の生えた政治人審議會組織工作開始――といへ

ドイツ、和協策に戦向か。



上等百名 六銭 天京 ミノルヤ果物店 大津常盤様・電2・3873

萬

の渡航約三萬

髪に質らしツト

學校を新増設 八兒童激增し

り無き在廣那人の發展に、 統三十萬國を墜務課では七日追加 物学するたとなり、此等 をするが、それまでに塚聡の必要

参內

型 來朝中の米國型 來朝中の米國型 來朝中の米國 兩課長兼務 電を會社では

し來る廿一日から事務を開始する電べ會社では今般北黑線龍銀及び電べ會社では今般北黒線龍銀及び 電報取扱所新設

形の虹では體裁は

重荷になることがあつたら 総があつたさうよ。あのお母アされがあったんですつて。何か短い置手 焼な、刺癬的な出來ことのそうに な人の苦境を、心からの同様で ただ人の苦境を、心からの同様で るのだからやつばり懸つてるるの 「そうなの。時夜とう 森は街子が今迄一番仲よし ン懸つてる

「置手紙の内容さかなかつた?」 さん、あんたには、もつと何か融 たんぢゃないの?仕事の口をた

細亞木!

電話二・五一一一番

大連市日本橋畔

んは昨日みなくなつたん 空に聳ゆ る 七層

で明なのかい?」 こ何もなかつたさ。そ 何も恋らなくたつてよかりさうな「あたしがとびだしたからつて、 臓に、何か話があつたのね」 喰つて、眼をバチバチさした。 めな風に話しかけられて、森は酸」とつぜんこ て歸つたんで を観子はあたへた。その上幸福さ の化粧をしてたづねてきた。 「伸音さん、あんた、この間窓つ いつもとすつかり連つた印象 青春の人生(三) 派手なアフ 1 点 たけれど、何處か妙な處があるの 「あの女は性格的には 砂部した ながら、 「そりや職じなんだよ。只、何處 たことはなかつたのに は云つてゐたがね そつて相談をうけなかつたかが悔 かに働くやうな口はないか知らと あの時、何故もつと彼女の氣持に 備本八百二繪 んが働きたいつて、 六 があるつて、ちゃ 云つ

八百二

會社久保田鐵工所製

2馬力 在 3元馬力 庫 5馬力 豐 10馬力

査 杉山商店大連支店

電話屋本局(2)七二九八大連市山縣通八八

富力以馬力

優 良 本機は図産機中の最高級品に 國産 絶對安心して

農林省認定

池田小兒科雕 勝君の御典特に添ひつゝあり 4月號より外額内容共に一新し

道 雑誌の内容 野成驚

発化を行ふことに視定

十一日午前十時より大連運動満相撲大會(隣議主催)七月

挨

決大會(満洲相

六月二十五日より

大連浪華洋行滿洲視察團

行

高

級サラグ・フラ

THE REPORT OF THE PARTY OF THE

11110000

五月十一日より六

號十五百四萬

山、離社の離園も清々しく描れた五月の陽と緑に光る若草

ら式野が厳かに執行されるの

て際かに鬱層もの際況を要想しれの本祭警日の際況を要想し

に日本内地の気分がみなぎつ

五月の空、春祭り 快な響きをつたへて來る

心が所に影集して準備にいそで雲面は氏子総代、後載等が

で何められて一の鳥居に立て

の記録、大連派職の記まつり かけふから執行される、思ま

を添へる強人の五月心事

られた大幅ものびやかにそよ

お天気で結構ですなお天気で結構ですな

紫の幕張り廻らさ

大通りの大熊小熊、電車も大通りの大熊小熊、電車も

感性量さんぎも没み切った砂糖質の弱わきに度を出した

殿からは早くも太装の部が愉

全満の精鋭すぐつて

今秋·初の内地遠征

あすは沙河口神社で相撲大會

一日十大時五十分観測車で赴奉す

添洲相撲聯盟の事業計畫

決定

きわたり、町内會の子供神野

町には奉祀の旗風が吹

最初の日曜者である東田家明(ま)

の窓から年寄りらしい女の患者すち関ひに富る婦人科四階病室すち関ひに富る婦人科四階病室する時人科四階病室

参員並びに一般だ

始め

目撃者の談

息まれた春祭り

ゼルエンジンカーで線路からそ地震があって居るデ

(日曜金)

交通に機ずる認識であ

井子には縁近清似、漢位着 歌してをりかかれの彩彩を実践し人歌 中の見込みである
に対して 機する記載であ 今年我童の記載念なるため邀談に 北差設事務所經理主任預勝大四 を動えて東方に選出中であるがれ 郎氏の薄真を見て これは金に たりさうな大人だいと云つたと かっちょうな大人だいと云つたと かりまりまりまれば地参の目的は かりょうな大人だいと云つたと いふ歌より見れば地参で中の寒 中の見込みである

ものだが是を大連、散井子職の 院みの場所まで行くといる風神 まゝ起り器けて御路を突起つで

日

つてもなくても自由に起るカーを 極なものだが、こんどレールがあ

から、散井子、大連職

八質の奪還

今明日の中か

匪團全く進退に窮す

九日午前十時五十分市内部所用港部大連野院四階新人秘報二階設十九號に入院中の市内沙沙口大正通九日午前十時五十分市内部所用港部大連野院四階新人秘報二階設十九號に入院中の市内沙沙口大正通九日午前十時五十分市内部所用港部大連野院四階新人秘報二階設十九號に入院中の市内沙沙口大正通九日午前十時五十分市内部所用港部大連野院四階新人秘報二階設十九號に入院中の市内沙沙口大正通九日午前十時五十分市内部所用港部大連野院四階新人秘報二階設十九號に入院中の市内沙沙口大正通

た事質があり附添君養婦が同女の臓をそうつてるた際用後に立つたほんの他かの時間に飛降りを決行 所は同女は主人松太郎とは二十年前結婚、十九の娘を頭に四人の子を挙げて居り本年二月二十日かしたものである、「葛眞は飛降りた現場ときみさん)

数日前にもベッドから降りて首をくょつて死ぬ震闘をしたり今朝は經交を前に殊數で首をしめたりし

思いに供することしなった

もなくても自由に起るカーを一では不便なため影響されるもので は相應しいものである 増加するので現在のバス交通だけ るグレート大連の交通機能としてルの上しか起れない治典は不一批その他議工場が新設され入口も あるが、この工業土地を総びつけ

自由

に走れるカー

上も道路も

大連、甘井子間の旅客輸送に

大連醫院四階から

飛降りて自殺

八十萬日中東京 東回に地し根教育 港画に地し根教育 港市、名献は東京 で開場の"影"には

二年越し入院中の婦人科患者が

厭世悲觀の結果

この秋から使用

なり、このほど湖に交ずさんに求 來た非常時常年とアメリカ青ちの婚したのだ、教奇の運輸を潜つて

他の態を機合に楽めて記書に譲つでられて行くか、文子さんが歌歌 歌姫とのこの結婚行進曲はどう この三月民一さんが私に直接結一(高属は文子さ

帰隣の後をほめる彼女だつた。

相手

川帰霊平氏はかれて駅山郷を転ぶの背の刺客中職技一へご見存である 所な学校がすつかり家に入り中間はなどない。 日子は昨年春田嶽後浦洲 始め

斑色のジョ ら中障君の鼬の底に

なんですの、そんなこと 本船人科學會に出版した大連階級の日で三日間、新潟において開催の日

の際闘下垂髄の婦人科に及ぼすかつた、面白い確究ではダンスが、最新式ホルモンの學表が多 氏は九日

一角後は艦艇を懸留、 共に、 る時は能学たる個分をなすことと

許可を受けない者を使用す 足すぞう注意すると て置く方がよいといふのだ、この見料置より直絡人科器に渡しい研究で産児は生後十日間位は

緊留船内の

(=)

中岡艮

異は縁

純情に絆され申込を容れる

米國から歸つて擧ふか

者は日本人二十八名鮮人八名で「智照事生存の機様である、目

出入者を相影響限して秩序を保持 し危険前に落販防止に努めつゝあ

原醫長歸連す

最近 銀かとして緊
解
と
内

総成を監部、概答の上陸後 主氏より世意を促したが、

の研究は末間地を開拓したといふべきで小見料器の開拓し得なかつた分野に産婦人科園が始めて張込んだ研究といふ點に復信があると信ずる

銀左の如し

東京大相撲

夏揚所初日取組

投京薄床

・投

類生 花多

用數

實販價特

神樂師の 耶馬漢から來連

御贈答に御土産に好適品

新·刺繡額·屛 動 龍子·絨 鲢

器置陶物

磁花

伴はれて船へ立入つた使用人のあり、これも某船舶御用速商に

即座に逮捕された事件が

第見村の大分離國立公園耶馬溪太 九日入港の熱河丸で大分駅下毛郡

新興事件被告

一、方法 皆様のお 製に内地送りて!

方法に依り御子様方を喜ばせ繁華祭ご教しますりて二千貫の林檎を差」言して

おかさんおにひさんなどと一緒に勧通りの御子様

の林檎を差上ましたが今回大連神社祭典に際し平素の御愛順にの林檎を差上ましたが今回大連神社祭典に際し平素の御愛順に

今明日中保釋か

や一所側では腓空腺腺は使告十人を通じて保護調験中であつた

一、發表

一、福引

勇夫、立石昇一、井上信翁 長太郎、沖寶墨、鳥越一市

コソ泥豫防

けふ用達商を集めて

水上署保安から警告

變異界行興草淺 市 大衆劇場出現 二洋一大きな 建築費も東洋一安い

し機器原飾の右に離する意

これは、日本のは、日本の日本の日本の日本の日本のできます。 しゅうしょうしゅうしゅうしょう はんしゅうしゅうしゅう

大連栃木農場傳統所市場販賣所電話二三四四〇九

い本の富り籤を抽籤で定め現品差上げます

右十氏全部保存になるものと

夏の變り白生地

豊富品揃ひ

電光小林一 るといる歌歌遊り、この電九日曜 小林一三氏の新計畫

戌の日會開催

十一日西園亭で

東洋一の



大連棋院競技會

定町の同院で月並監碁競技院では来る十二日正午から

を誇った日本劇場 四人より一千五百

四来るやうに無影響と見られてるるのではないかとなるやうに無影響と見られてるるのではないかとれない。その着色を愛へるのではないかとないのではないかという。

は激制を受付けないと

部浦校保護者會 本年新

いれば芝居も出來

入場料

特別援助金寄附 **業球場改造に**

實业

南側を計上して同島城場を大阪湾 大連賀紫陽後援會では過程來終二 市中各部社及び後援 右工事に要する 大連水曜會は二千圓を申込む 快端 を無へついありむく

大同外科醫院開業

中のところ今月

大同球場も面目を一新することで 焼工の 戦には使来手機の駆あつ チーム遠征 實業、滿俱兩

大連賞業賦では十日九時級あじあ大連賞業賦では十日九時級の下手のみ)に分乗の上左配日艦の下

(日十)時風の南

曇々時

干潮至午後的 各地温度

二八、旅順 順十二六、旅順 順十二六、旅順 順十二八、旅順 順十二八九。

10 地方ではより で、一直で、「一方では、

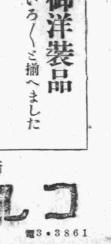


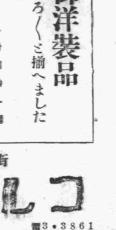
赤ち 方にむき

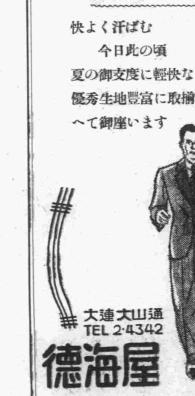
大連連續街

夏の御洋装品

電3・3861









夏の高級京吳服も品揃順撃職石、論問者、紹長橋祥等 ト地、東窓山職人ジョウゼット地裏健慢系記を慰ひ切つて際山取寄せました。この庭の流行の中心とも云はれます緩終人ジョウゼット地を始めとし、山職人ジョウゼッりまして一層の流行で復産して、ラギにト見して、 りまして一層の流行で御座います。共紀には竪地広として懸り出生地響高に取搬へ、然に出生地を無地発にしまして御訪問着代り又は御券織としてお召しになる事は、この夏にな

動社會斯瓦積盤當市連大 番八七六三。二章 店約特社會子確滿當



ウェーマッショ マッショ マッショ マッショ マッショ ス

大連神社大祭二付

満

來た 本月十五日 + 麥帽の世界が來た! 浪速町の 日 野球指定座席の 定体日に付乍勝手休業仕候大連神社大祭に付護而休業仕侯 日に付乍 浪 分(人) (選正軍ビン皮 ゴム紐付) 賣 洋 其他各種 話本局(五一七九

(可認動傳影經三第)

(206)

に歩み出した間であつた。

歩み出さうとすると、彼の法が

の通り休業仕候

連理髮業組

ら音頭

十日大連神社奉季大祭に付例年

花治 書作

涵洲金物株式會社

大連市山縣通り五三八山縣通り

四本立

パラマウント映画會社縣通り五三〈山縣通り第一ビル二階〉

******************* ニ 遺東百貨店支那みや

五月十日謹で •夏のハンドバツクと草履陳列 洋裝品陳

ಶಿತಿ 香花

頭痛山はおうばり

英雄武将と雖も 校軍毒虫軍に對

光陰によるのはなったとするのとなっとするの 水のすがたであった。一覧一様

大宴會より、簡單一品料理迄쳬洲一大北平料理、六百名の

群英樓茶館

斯斯·多义四九九二

◆夏の •ハインズの食料品試食宣傳會

町 遊 浪 市 連 社會式株築資本日

防に依らされば

しては諸印の攻

ロベラのやうにだい

飛行機繁の鼻息はまだ!

ろが内崩定期航空の旅客機がとに乗りたがつたものである、と

と、同心ベンフレット「空の院」

現在航空會社で使つてゐる飛行

者はもとより一

一 変視した時代は既に過去の夢と 一なもので となく天空の飛翔を胃

だが質は脳のやうなレッキとした

は明ら夏を奉天本整、このマークは昭和七ることは恋らく知る人

総者多數の出逃へを受け大連ヤマ トホテルに投宿、兩二日離在の上 ・ルホテルに投宿、兩二日離在の上

数は二三〇、六三〇庭(海路商事四月中における大連港の輸出總理

※繭、八田禰籐副總裁を始め開

日

注目する加奈陀

下見に商務官來滿

の大戦省戦行機を登売川島二氏並の大戦省戦行機を登売川島二氏並 で大戦省戦行機を登売川島二氏並 に商工省工務局長行内可吉の喇氏 に商工省工務局長行内可吉の喇氏

合辦生保設立問題で

矢野恒太氏ら來滿

國際貸借のバランスが如何にして要は世界各國共に悩んである。 て要は世界各國共に悩んである。 で要は世界各國共に悩んである。 である。

版海上火災野務併費歌吉氏は語る 生命保險の方は外地電業者の研 等も大分深く行はれてゐる模様

・馬評も單に噂に止り話はそこと大連火災を母體として云々のの研究期間が必要と思ふ、従つ

蘭印ミ滿洲間に

郵便爲替取扱

の為め九日人港熱河丸で來連の大災保険の統制に職する熟液會出席。

兩洲特 産に うの鮮銀券を如何に處して満洲國、軍部側と意見の交換を譲するのは考へものだ。日満合郷生保設のに闌し新京に於る限ります。 出情の

命保険社長矢野宿太氏は委員野村命保険社長矢野宿太氏は委員野村 稻宮患務縣長常同九日入港熱河丸。



議だ、一行はは大體十四日迄に 宮業 權の歸趨如何にある

が戦然とせずこれの授業に困難をが戦然とせずこれの授業に困難を

印に引着き近くポー

大豆

人連輸出數量 四月中は激減

支那向は前年の二割 きありたるのみにて四四、 れば七九%の激減を呈 △田は滅) い相場を持續した別様には関い、高粱は



小聢り乍ら

近江屋商店通價都

▲曹通大豆 出來不申

▲曹通大豆 出來不申

五月限 1至00 1至00 1至0 1至0

六月限 1至10 1至10 1至2 1至2

六月限 1至10 1至10 1至2 1至2

七月限 至10 1至10 1至10 1至10

七月限 至10 1至10 1至10 1至10

七月限 至10 1至10 1至10 1至10

七月限 至20 1至10 1至10 1至10

七月限 三20 1至10 1至10 1至10

七月限 三20 1至20 1至30 1至30

七月限 三20 1至30 1至30 1至30

七月限 三20 1至30 1至30 1至30

満洲商社のマーク…

埠頭着荷減少 松花減水で輸送っ でで、一部と奉音線の一部と奉音線 倉庫滿腹收容力なし

五

満洲火保統制は

容易でない

—伊賀火保代表談

蘭との間にも本爲替取扱ひが閉始 大豆低落

される豫定である

シ園一

風が、 ・ では、 、 では、 、

接電版深載等のため を視察見要の傍ら在 を視察見要の傍ら在 を視察見要の傍ら在 を視察見要の傍ら在 があるが、九日午

出國の獨立を否定したものではな 本の仲介を希望して來た理由は満 本の仲介を希望して來た理由は満 が日

産業、史職等と

季官氏と懇談

来滅した日本

に依り滅洲の投

爲諮阳場

各市場休み十日は大連戦略春季大衆に就き銀行及ひ特盛、銭銭、株式、商品各

豆粕 豆粕 豆粕 豆粕 豆粕 豆粕 三千枚 豆粕 二八〇八八車 二八七車 一九七車 一九七車

極 代 謝病 科 縣 病 科

株式電大響播秘法

外科

X 光線科

白米下溶相場は

連鎖街の間屋大島屋 園三二一〇〇音

利 西公園町春日小学校前 X 织完備 X 织完備 品質升目確實 配達迅速 **血壓及婦人內亞** 科病

(四)

論議するのは不得策

國際貸借のバランスが問題!

荒川、竹內關東軍顧問來連談

滿洲國通貨問題を

四%)歳を示し

産

產 品 病 ◆ 。 前 病 ◆ 。 前 病 ◆ 定 。 前 病 ◆ 定 。 前 未 一 八 四 解 量 位 易 服 量 位 九六〇 九四〇 九四〇 九四〇

實物問屋 松尾支店



皮 軟 権 性 唐 特 素 病 疳 病 疳 病 疳 病

天 渡町 二、 電話 二八八七年 天 1 記券 公司 開取 3 所 仲買人

株界三十

北支諸問題の

特殊行政地域

滿支友好の良き楔

特派員

戦地區を行

1

亘つて隠なく懸説し、

同地帯の治一安、行政、經濟

現状をつぶさ

先づ殷同氏退京す

段落

意識 は勿論に要別でも根蓋性 ・ なが、氏は頗る懐重な証 ・ なが、氏は頗る懐重な証 ・ なが、氏は頗る懐重な証 ・ なが、氏は頗るしまない。

不國經濟視察團に

同様外交信取人に難しては何等常 満洲國皇帝の御赴日に際しての職 する所あつて十一時散争。 人京途上新聞評者鷹に公置したと 同に傳憲された、右脈示の趣言は 竹下長宮より右の趣言を入京途上新聞評者鷹に公置したと 同に傳憲された、右脈示の趣言は 竹下長宮より右の趣言を入京途上新聞評者鷹に公置したと 同に傳憲された、右脈示の趣言は 竹下長宮より右の趣言を 一覧の努力を要望したもの 原東町で筒下長野より 一覧の努力を要望したもの 原東町で筒下長野より

國策審議會の本質

借欵申込

日滿緊密化訓示

九日州廳々員に傳達

日外務省に製造があったが、支那の真正なる自製に取く終端自力度

根本方針が既定事質として取存しに全幅の援助をいたすべきことの

が日支間の提携工作に 當るために が日支間の提携工作に いるために

我政府前途に重大關心

億元起債

の閣議にて正式機定の上蔵表され「鱧り閣議を以て右手續きを終へ、網織は十日午前中に完了し、十日「の間に合はぬ場合は、十一日時ちの閣議までに手續き 明日中に正式決定

く纏る

農漁村救濟機關か 岡田首相の言明

満鐵重役會議で決定

ともに、 戦區内の治安職保に 潜のである。 であるのである。

支那は日米南國の 変響が支那の産業 変響が支那の産業 変響が支那の産業 変響が支那の産業 変形は日本の 変形が支那の産業 変形は日本の 変形が支那の産業 の学生之を推ざ がある人その書ふ

…數福

るる。師ち戦區は行政上二分されなった特殊な行政地域を形造って

一、他の支那本土には見られない 特異の行政地域であること 特異の行政地域であること 双方の承認した正規軍隊にあら ざる特殊の警察機關によつて維 持されてゐること 持されてゐること 持されてゐること 持されてゐること 持されてゐること 持されてゐること

一段落

電声、監田幸文郎の三氏と決定し 東京九日韓國通』町田民政監測 東京九日韓國通』町田民政監測 東吉、監田幸文郎の三氏と決定し 2 うころを送られたいと悪神されの第三回会合は十日午後六時から対して、町田郷裁は同日午前十一院艦の変定であつたが十五日以後、大ので、町田郷裁は同日午前十一院艦の変定であったが十五日以後、大ので、町田郷裁は同日午前十一院艦の変定であったが十五日以後、大ので、町田郷裁は同日午前十一院艦の変定であったが十五日以後、大のに無理を弾んで或民哺鯨が郷然、大師の全人の源解を求めた上間とでは、大師の登定であったが十五日以後、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源解を求めた上間日首根に回り、一次には、大田の源には、大田の源解を求めた、大田の源された。 チ・ソ 互助條約を締結 兩國間にも

ぎであると

顧問招待關東軍經濟

満

政友會を脱し に受謝し様田、水野郷太林田清、水野郷太林田清、水野郷太林田清、水野郷太林田清、水野郷太

民政三氏

答するといっことに決定正午散命

たた

參加決定

政民聯携會合

無期延期

殺國通」或民職携委員

水野氏の態度決定 **八受諾**

那の自立更生策

とが國家のために確す途であるとが國家のために確することが国家のために確することが関係している。

內審入

政府對政友 脱藁して審議會に入る

内容は佛ソミ略同様

開東東經濟組成として來連の商工 管作内工務局長並に荒川大総省殿 行機査管爾氏歡迎の寫め、大連商 行機査管爾氏歡迎の寫め、大連商 行機査管爾氏歡迎の寫め、大連商 工會議所、大連五一會共同主催で 九日午後六時より御月に於て招待。

明かにしたのでこの総 動がにしたのでこの総 が態度を強化するに 常び七日飛行機でパリ酸ローマへ帯など毛飛行機でパリ酸ローマへ

楠公六百年祭

聯盟の催し

關係漸次惡化

伊エ和解困難

記念するため在繭愛國團艦職品で來る二十五日の大概公六百年祭を

國



政友参加せぬも

學國一

致ミ認む

交渉の經過を語る

連れても之れは已むを得ないと 車次第でどうなるか分らない、 車次第でどうなるか分らない、 車次第でどうなるか分らない、

新京に向った 等な行ふことしなった 竹中理事新京へ

告のため九日午後八時設列車にて大年度決策見込に就いて打合せ鉄が無線竹中理事は市川經理部長際同

本天副支配人)九日午後六時半 本て引氏(スタンダード・オイル 陽へ 陽へ にてタンダード・オイル

東

貨物乘合自動車

区

术

才

ラ

汁长

乘用 自 デ 動車 ッ

35年新車到着

哈爾濱中央大街一七一 新京入船町二ノ三一 電(2)9294 電 63339

合含社資

が、以上が戦盛のもつ特異性であり、 いい、以上が戦盛のもつ特異性であり、 いたこそ戦盛が――過去二年間南京 にこそ戦盛が――過去二年間南京 が、大きない。 では、通野、数鵬など日浦安 が、大きない。 であり、

する皮膚的協力の強化等につき協・受取相互接助條約の無比率に脈を対して、大型に脈が、受取相互接助條約の無目常議

着あじあにて來連着あじあにて來連者あじあにて來連本時代(清潔學口病院長)同上人性財政的(清潔經數)九日午後八時級列車にて視察の為北行後八時級列車にて視察の為北行後八時級列車にて視察の為北行後以前定於氏(清潔經數)同上人性財影の民(清潔理事)同上者的關學造氏(清潔理事)同上新京(

系三十四社の

【ベリ八日發國通】 佛空相ドナン

イタリ

訪問

ドナン佛空相

付株開放斷行

健吉氏(満曦經理部長)同

行招待滿鮮視祭團一行同

本 店 奉天加茂町一四

支 店 大連吉野町八一

貝反

店

支

蒙

支

店

ゼネラルモーダース特約店

歐米視察へ

岡田政友顧問

東京特電九日襲] 歌方衝駆出版の機能 一世であるが主として歐米外遊の途につくこと、 上田来得る限り殿く調査を一巡して 一世来得る限り殿く調査をを遂げる

はいて交防南電廠に全電が参加し近いて交防南電廠に全電が参加し近 代科製廠の数を盛した一大空電影

我行する事は絶對にない 出来ないがミッドエ1島以西へ 出来ないがミッドエ1島以西へ

全國各大學より

權威者を集める

内地勞働者の

整行人 權 和 市內變活町一八

召盛

GILBEY'S

FAMOUS.

DRYGIN.

GILBEYS DRY GIN

GILBEY

朝鮮銀行小切手

招來見合せ

土建、

採算難の爲め

大連市朝鮮銀 石 盛 和八

滿洲總代理店

電話長二・四八〇三

洋

行

大連市監部通り七四

來る二十五、六兩日總會を開く

満洲醫學會の飛

小林侍從武官

九日哈爾濱へ

確認聲明 海軍々令部

ない。現に大正九年沙河口

米國の渡洋作戦

此際靜觀を要す

ちに疑心臓鬼を描くが如き必要の で米國海軍のこの大凝暫を見て能 を見て人精神から見て日本は決し

側前日並びに耐害機能に念事業の【新京電話】新京特別市では皇帝

ラの店

記念公會堂

經費十萬圓追加

のインフレ財

が悪ければ賃付金の形式で融資が悪ければ賃付金の形式で融資とでたまく金融界の條件を設定でたまく金融界の條件

對滿投資の好調は 正しき發展の反映 菊本シンヂケート團長語る

ハウ島で燃料補給の後候機戦 へ向け干三百種の編隊飛行を敢 向つたフェイへ向ふもので、途中ニ 早端ホノル、出載ミッドエー島 前九時二十一番歌運機となり、編隊飛行でミ 海軍飛行機其他四十二機が八日 前九時二十 電の編除大飛行記載を搬談左の如く ・ 造べた

新京電話』 長き速りの御巻道に 大り水瀬中の保健武監点、成准を取中 佐は七日午後五時半あじあで來京 ヤマトホテルに投稿、八日は財産 本東部で聖旨を優勝したが九日午 海東部で聖旨を優勝したが九日午

発療が等所等より新界の概念を表際 発療が等所等より新界の概念を表際 発療の諸大學及東京傳 り、當日は會員の研究設表以外に二十名が來連出席する官の際語あ

土地制度を確立 部書奉載式舉行 (デチャル九日殺國通)第三軍管 (デチャル九日殺國通)第三軍管 を訴訟長を將校集合所に集め語書 を監試を撃行した

本に地税負擔の公正を期す 一、政府百般の行政に各種の便宜 を行ふがその眼官とする所は であため全面的調査について討議 であっため全面的調査について討議 であって土地局官制の創定から 工年学を蹴した今日各般の準備を であって土地局官制の創定から 工年学を蹴した今日各般の準備を であって土地局官制の創定から 工年学を蹴した今日各般の準備を であって土地局官制の創定から であって土地局官制の創定から であって土地局官制の創定がら であって土地局官制の創定がら であって土地局官制の創定がら

鈴木勞働代表語る

商州里 藤道過哈 耐濱に向ったが車。 で 大力氏は 國際列車で

山氏は右記念事業の一職に**が**てる

堂 光 和

右記念事業費は全衛民衆より浄財

富豪王氏寄附

と決定員下工務様において設計中と決定員下工務様において設計中間を加へ五十萬個

Joy

保護と訓練 7

【大阪特電九日製】 瀬州土建協會 は採菓鉱のため統献ある内地労働 は採菓鉱のため統献ある内地労働 局は右に 腕し 次の やらに 融つて ・ を機関 たる大阪 付日瀬 勢 が 協 盤 當って

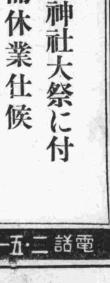












世界各國酒類·食料品 謹而休業仕候 ŧ 0

腎臓病に王蜀黍毛 裁断師· 赤津秀雄 でサービスいたします 赤津洋服店 田本橋藥局

御家庭での寫真は 奥様の 連月入荷の新型力メラ 御手で… **爪村洋行**

小相 惠まれぬ船乘

迎 歌 書 投 內以行十五

あるのみか、散理で上 はないが夜年 も脱汞はあま

になってしまひ、海軍の感経制になってしまひ、海軍の感経制になってしまひ、海軍の感経制になっていまり、海軍でもして下

迎へ社業隆盛の

石鹼評價引上

居する家族強の心臓さは割外でかな本総のみに観り他しく留守

営上の要項 重要工業經

機なくされるものと見ればなに、何れの日か同一体路を除

成るべく自國民の大衆的利益が

れに備ふべき終雲政策がある。 勿論産業上の競争には各々そ 社

說

らぬる

聖野財政部総務部 じあにて祭中観戦 じあにて祭中観戦

空軍五十機も参加

概人される事となるであらう。 無に編入されてあたのであるが 無に編入されてゐたのであるが 一九三五、六年度海軍襲勇の機 したこれであたのであるが 一九三五、六年度海軍襲勇の機 であるが

上の緊逐艦は一切ない際に極入す

米海軍兵力擴張に努む

如何の態にあるが對演投資の現況の態にあるが對演投資の規況

援光を見る事となった譯

-五隻現役

一千名增員

は一般の能浪で

胜石鹼の評價引上問題に関する在場を開かる在場では、一大阪特電九日韓』既報謝人同化

の随情書は大阪商務

換ラ停止ス
一は一様式名義書換停止公告
を持ち、大大名義書換停止公告

緩和陳情

科學的立體戰展開

流通してゐる演洲の現況を如何

米國海軍の大演習

土地科長を招集して土地の調しことに決定した具現であつて此機會に於て各地に同市の際品度の確立は更するに土道政治しては率天城内種

新京水土地四次町 香香

天ぷらと 所扱にからる満霊視祭監左の如【大阪特電九日盤】大阪駐湖案内 滿蒙視察團

神戶商品陳列所

地に同市の商品陳列所を開設する地に同市の商品陳列所を開設する ारो 羽月商店

英國皇室

御

の用

芳香佳味

ロン

ン・ドライ・ジン

英國キ

ル

1

會社謹釀

初を造製聘招を人職りよ場本の萩州長 來御に當辨例の見花倒・非是たしまめ すまひ顧用愛御食試御に答贈御に答

大連自動車株式會社指定養成所學の好機會發表

五月八日 京計 金六三、二三九圓二八穀 東京 金六三、二三九圓二八穀 東京 金六三、六四六圓二九銭 東京 金六三、二二九圓二八穀

お科の医院 科醫院

五千家族 警遊者增加 豪遊者增加

歸國出來ぬ

言次

配置を記載して を記載しればいが、 を記載して

◆・・・・
あるべき間

日瀬兩國は一心同體

であるべき間隔ですから満洲國に を いする思君愛國は、日本帝國に對 を いする思君愛國は、日本帝國に對 であることを見郷せぬと思ひます。 今…郎ち、日彩宮史の中には往 の たにして、一にも繭洲人、二にも の がにして、一にも繭洲人、二にも の がにして、一にも繭洲人、二にも の がにして、一にも繭洲人、二にも の がにして、一にも繭洲人、二にも

は本年始めて見る新傾向でこ

退職金だけは繁秋上の義務である ものと看做し歌て骸仮もしないが ものと看像し歌て骸仮もしないが

末尾には

同樣の文句を印刷にし一人

物の内容は呪文めいたもので勢ひで調がりついある、取刷

家族、百枚撒布すれば自己 災を発れ、十枚撒布すれば 一枚撒布すれば一生水火婦

家族の外知己親戚まで

八心攪亂だど御法度

濱綏沿線移住者

酸刺たる新興氣分漲る

日に三百家族

が一時に押し寄 から満洲を訪れる 飛怒歌見歌きの他

高では臨時列車運転の配備を進め 五千五百家族は今尚ほ 主艦視察艦二百名の大勢が粛洲 は四ヶ列車に分乗して既に本國に主艦視察艦二百名の大勢が粛洲 は四ヶ列車に分乗して既に本國に主艦視察艦二百名、七月には中京 その他のツ戦人を合して約七百名

連鎖。幸福の呪文紙。

八を風靡する

每日卅乃至四十

画體

は、続局の旅客

闘する横槍で壁國したくも出來なウッキ總領事の退職金計算問題に

満洲國内に

日

殺到する視察團

當時の思出

今になつて見れば當時十

聖地の御事蹟が保存されてゐななつてゐるかと思ひ、若しあのは自分一人で現在彼地が如何に ・ している。・ は総約二尺五寸権一尺程である自分が死んでしまへは遂に埋が乾度あるものと信じている。・ は総約二尺五寸権一尺程でが乾度あるものと信じている。・ は総約二尺五寸権一尺程でが乾度あるものと信じている。

五

元陸軍步兵

で明治三十七年日繁後の常時で明治三十七年日繁後の常時で明治三十七年日繁後の常時に

訪ねこれを保存するため三日前に 十里河東方紋二里率の大気部落に 大型では、一大型である。 ・ボニー間年に置る今年、側週間を ・ボニー間では、一大型である。

A STATE OF THE STA

inininini in が持の木標

同の名譽とするものにして、

をある制札で、これも往時の御宿 とある制札で、これも往時の御宿

神戶市神戶區江戶町百番館

文) 舎に建てるために來滿したのであ 國立博物館

日は一般に無特別がする野であるれた要行することになつた、何當別を要行することになつた、何當別を要行することになつた、何當別を要行することになった、何當別を要行することになった。何當別を要行することになった。

十五日開館式 年春經費五十餘萬元を投じて奉天 「本天」 瀟洲國々務院では大同二 私邸を改築、國立博物館

A STATE OF THE STA

在天 田中及水即建之

電影又異常の緊張を見せて整備の一局ではその管内の3 橋行鎖水として傷へられ各線繁砂 華天市のお豚下を である。

ソ聯人の數も最近はめつきり増

輸送計畫を立て直す認にもいかぬ

京に流行した「幸融のは京に流行した「幸融のは京に流行した「幸融のはを演光では時代を以て人心を開発するを以て人心を開発するをあるとし概重取締方を終わるとし、一般重取締方を終れては異なるとし、一般では異なるとし、一般では異なるとし、一般では異なるとし、一般では異なるとし、一般では異なる。

に検撃し取調中である 诃子部落居住保土太昌

は、 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 ででる。

で之等の凱旋射士を逃するに渡何 の就職口があららか、弦に於いて 私は瀬州國の治安艦架に加みどろ 神秘境·

◆これは一例です、すべての監 郷局弘戦係宮尾氏を除長とする統 郷の間山を躓く紹介するため線路 郷の間山を躓く紹介するため線路

談

務所庶務主任 山本一市氏

お互に日本一

おでは日本帝國田民の一人として出國を代表して満洲國政に参東す に

病患の時期が郵來したので各製役「市内쬪町小學校に麻疹患者が發生【新京電話】新京では小學兒童の「當局では製戒中であるが去る四日

麻疹患者七十餘

室町校一部休校

◆…お互に日 脚でを吹いますが―― 本人である以上 蹴を吹びば果が、斯くの如き始末

の如きも巡行不能に略るではあり現であり、 我が遠大なる植民政策

であり、我が遠大なる植民政策

廣一紹介

を残らずか

汗河

十五分断京陵で公上置く 後六時三十五分列車で新三重農學校生徒一行五〇

生三五二名 二二列 一四二名 二四列

医學生五〇名 銀行團二二名 Ξ

より來奉 五一列車 を 単にて大連へ 郡町村長團 二二名 郡町村長團 二二名 和町村長團 二二名 和町村長團 二二名

は輕微なのが多か原則で小學校

右につき髪銃

| 選三九名 二五列車にて解して、一工業生三〇名 三三 生四五名 一九列車 其處へ酒肴が運ばれた。食事に

ですよ。湯知殿がこの前試験官に ですよ。湯知殿がこの前試験官に ですよ。湯知殿がこの前試験官に それが殿成で今度は試験官に いるれぬのです。今年度の十歳人の 活験官は都な若手の選士で勢られる は一ませらしと て今年は湯知殿は武殿官に伝命さ 入つてから話はまた傾けられた。

時四十分で新京着 一〇四名 午前六 で新京着

にしてるます。周家との今度のと 地番も湯が敷の役所で同歴して高 地番も湯が敷の役所で同歴して高 を一緒に飲んだのが動機で、無意 を一緒に飲んだのが動機で、無意 事も羆熊線が燃が人になつて臭れにしてゐます。間家との今度の慶 あの時池とかいる事人と 世の中の凡での事は道に重きを 置くことが好もしい」 工口は采れ職にさう言つた。 歌 共を氣燼に提舞ふ遊は當然のことと事能だ。一瞥の懸帆が水電自姓 墓地に埋葬するものでせらか、別 郷を何時になされますか。今年の葬を何時になされますか。今年の 資生はさつと 「製機が大臣那機に、臣那機の埋生に開つてから言つた。 乳母が子供を抱いて現れ、殿資 に向つてから と言つてやる處でし

ない。次男を省城に連れて往つてたく。それから耐寒との総脳をさせればならぬから、第のことはお二人にお愛せしておく。それから耐先の襲地に埋葬する調にはゆかぬから、別に撃撃する調にはゆかぬから、別に撃撃する調にはゆかぬから、別に撃撃する調にはゆかぬから、別に撃撃する調に連れて往つて ない。次男を省城に連れて往つてない。次男を省城に連れて往つて

をのまゝ一足先きに融つた。要された二人も間もなく辭去した。 数日か經で数節生は次男を連れ でない。夫人は子供と、

はならぬとしてある。

靴四十二足

と書いた從

製造工場設立 に市城の治安に重大なる影響を及に市城の治安に重大なるのに、夏が特別を製造が開催に於ける治安維持と製造を開催に対ける治安維持と製造を表現のためこので、夏が特別を表現のためこので、夏が特別を表現のためこので、夏が特別を表現のため、夏が特別を表現した。 別警察大隊を編成す 言つてゐる。私達が試験 出來なかつたのですから心に愧る 「あなたは省城の方には半年から 廷の大事に私事を顧みることが は朝廷の大典に

2

殿責生が反駁的に言つた。殿

は斯標な人が及策してゐるでせ

應じたためで

として一躍有

人乃至一四一人)を以て一ヶ中隊 古を前生に影艦して臭れましたの は揺者の素行を解識され、また揺 番娘を拙者の次男に姿らせること総の紋を結びたいとて、老師は二 で、含ふために省城に往きました 酸ケ月を滞留した上、排 一度會つたらけで舊知の如く 歌習した上、挑者と心

殿真生は相郷らず法螺を吹き始になりました」 したことを が飲み乾されてゐた。 調知縣が激怒 したことを が飲み乾されてゐた。 説知縣が激怒 である。 記は前日の 語られた。嚴重生も続つてはゐらとなどが、王家の二人の兄弟から 酒品は触となり、

れなくなつた。

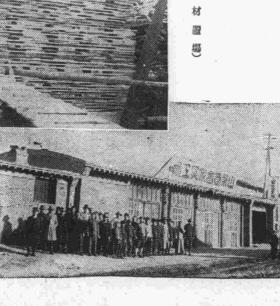
かしと主任が認ねたのです **駅に會つて、王小二とか黄**。それは第に才能が家に居たない。

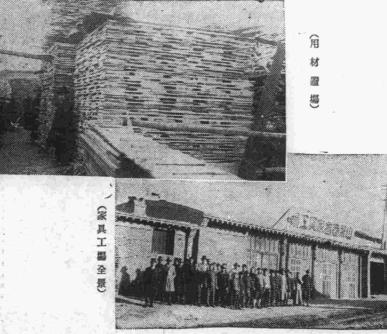


品

葉 Ŧi.







カールアントン親王殿下 御駐泊三十七年日富國交断絶す 開院宮殿下 二月下旬より三十

若返り

奉天に

E

が近く奉天篋西工業區に出來るが近く奉天篋西工業區に出來る 高橋城相の若返り秘事

新京の深町圏院

皮を混りに説ねた。

◆…その主體は去る三月十五日 新京で即立虧會を眺き離日通深町 百萬圓(四分の一搬込)の野仁駅 ・ 一百萬圓(四分の一搬込)の野仁駅 ・ 一百萬圓(四分の一搬込)の野仁駅 ・ 一百萬圓(四分の一搬込)の野仁駅 ・ 一百萬回(四分の一搬込)の野仁駅 ・ 一百萬回(四分の一搬込)の野仁駅 型より認可濟み、 機の顧田改太郎氏 長ほか九大系の圏 工業土地會社

渉を遂げつ」あ

かでない満洲の牛、馬、羊、豚◆…何千萬頭とその敷さへ判ら 手し得るまでに準備が整へられてまれば六月からでも工場建築に着

ドイツ製ホルモン劑を 脳上、 内地市場を席捲し

式の方法を以て編成される指導官之を指導幅佐する全く軍隊に乗り、小野、佐薬の各上、下川、宍戸、小野、佐薬の各

團體往來《八日》

並に大隊の直轄部隊と

車隊二百を以て編成する特殊が、自

主力を構成、外にト

夏防特別大隊 編成行は

3

高粱繁茂期を控 瀋陽縣警務 局が

治安の如何は直守る番陽際繁衍 甌つてゐるが大

七七名 撫

二一列車

・ 名 無順・ 名 無順

國藥學學生五三名 撫順 「張解釈の家に

「そう」と戦前生は軽くあしらつ「結に此處に來た代でせう」

一 王には兄に冒配せをしながら言 。あの時に惹き赴されてゐる

申されました」 に墓地を求めねばならぬでせら

(三)

まい。**唯へば康若師のやうに、**女 ・ なのは、凡てこの滋順に適つた大 ・ なのは、凡てこの滋順に適つた大 をなる文章とは時せま が を が で が 一等で 採つた が 大変とは 聴せます で が つきで 採つた 常務取締役兼大連支店長さして在職中は一方ならぬ各 陳者私能過ぐる拾數年の人しきに亘り山薬洋行

ざる所に御座候兹に改めて永年の御芳情を謝し併而將 來一層の御後援を懇願仕る次第に御座候 Bm小生今回少 に到り候は偏に各位御助勢の賜ご深く威銘威謝に堪へ を見益々其雄飛を巷間に期待せらるこの活況を呈する 位の御聲援御鞭撻を忝ふし御蔭を以て會社今日の隆盛 しく感ずるの所有之酸心して橡故深き會社を退き道を

を致さんご決意仕候 歩以て聊か斯界に微力 去の貴重なる體しと唯 後進に譲り候ご共に過 一の基礎さして淘立獨

運びご相成申候間何卒 而して著々これが諸準 御指導御引立被下度偏 漸く新裝成つて開店の 備を急ぎ居り候處今日

先づは乍略儀以紙上御 に奉願候 如斯御座候 依賴穷々御挨拶申述度

新京興安大路四〇八

Ш

電話五五七三番

小學校生徒一行一五二 る文章には一定の出販がありま できる限りますまい。 お気あ

百萬圓だけ承認

奉天工業土地の増資決定

等を協議の結果左の諸點に願し

三百五十萬圓を削減

別の機がで、取引高は昨年同期と 高の形然で、取引高は昨年同期と で、取引高は昨年同期と

なは一般に 対合せのため 計画中の 単瀬大阪 開展の が お合せのため 計画中の 単瀬大阪 田野殿は 野野殿は 野野殿は 野野殿 は 一口、 殿殿の とと 各地を 独つて 詳細打合せを行った とと と 十日頃大阪 勝着の 常定である

然し近來の旱天の景觀きも常

あるので

特産課税の

因かなすものは凶作による演洲と ところ跳くないが、むしろその眞 富然に上る寛潔りに影響せられる またかも演洲は鰹妍の影解に動り 高次でするのは凶作による演洲と 高変者は農林省方面の意所に 動たかも演洲は鰹妍の影楽にあり 本たかも演洲は鰹妍の影楽にあり

搬下げがこの際無限せられてゐる 夏ごろより一時中止せられてゐる

枇杷良品待ち

早目の實施で

立賣激増す

四月の大連中央卸市場

支那の方針不變

の智である、然しこれは酸庁こり五厘より五銭までの値上りを り五厘より五銭までの値上りを

轉口税を徴收し増税せず、大連港に搬入されるものは従來通り玉蜀黍等の安東營口より各通商

●満五菜 ※電売交代し振りの入荷に良品で好人無アラ電五 りの入荷に良品で好人無アラ電五

後場市況分見

ō

出來值 數量

豆、大麥、蓋麥、小米、高粱、洲國(原文東三省)產大豆、

東京九日韓國通』 瀬州國際産の 支那響人に獣し 最近安東警口より するもの、輸入税験止説が県へられ であるがこれに獣し財政部は七日 であるがこれに獣し財政部は七日

殖出品参加の申込みは緩々との満洲見本市に瞬し大阪市産の満洲見本市に瞬し大阪市産の満洲見本市に瞬し大阪市産

見るに百九十七代四百二十二萬国見るに百九十七代四百二十八、大二二代三百九十萬國の増加を呈してる代二百九十萬國の増加を呈してる。

秋四倍の金額に上つてゐる、餌ち

れてゐる

麻袋座談會

激増せん 大阪の出品は

四月の新京土建界

四月迄の統計を

025.11

賣物優勢に

大豆弱保合

0

前年に比し四倍

大部分は住宅建築

西五十萬足、昨年同期に比し約一四月中のゴム底製品機需要高は二一四月

査定價格引上で

ゴム底品は先高

五月賣行は昨年程度か

おこうに日本政府はその手持窓の 滞における新ものとみられてゐる、た

傾前は実設統特の出現せぬ殴りられてゐる、從つて今後ともこ 民の絶對的な戦料不足であると

満合熊の奉天工衆土地會社 ものである、この総果現在の資本 いため三百五十萬圓の精査は完要 いため三百五十萬圓の精査は完要

内地に先走り 人絹は崩落

| 東京九日最國通』外称省ではモ | 遠々季節に入る白グチは近年南支 | 端り二圓大、七十銭より二圓迄の「東京九日最國通』外称省ではモ | 遠々季節に入る白グチは近年南支 | 端別これである、然し即記の職家上監 | 東京九日最國通』外称省ではモ | 遠々季節に入る白グチは近年南支 | 端別こ周大、七十銭より二圓迄の「東京九日最國通』外称省ではモ | 遠々季節に入る白グチは近年南支 | 端別こ周大、七十銭より二圓迄の 傳である 傳である 像である 像へられるが虚 日ソ關係者 物資支拂問題で

三井、三菱兩銀行

九日後場の大連市況

大連出張所を開設

十日から個別

頽勢續く

四月の外米輸入

新記錄示現

農林省の歐洲輸出に

當業者は關心

祭の茶話會は九日午後四後からヤ の茶話會は九日午後四後からヤ れたが、通

酒滿洲櫻こそは

香

色共に全く

國内無双の

全滿の待望の中に生れたる

で高値十三圓まで行つたが自先下で高値十三圓まで行つたが自先下へてゐるので人繁度く値びに催ん 大連卸

盛漁期に入れば 白グチは牛値か 未だ販路の見込なし 以外高 二百九十事 整通大豆 出來不申 豆 始 一四八五 一四八〇 出來高 四萬枚 田來高 四三五 一四三五 出來高 二千三百種 出來高 二千三百種

前編に機いて乗替士多く連期は三 画蓋に低落軟調を辿る 今定 期(単位銭) 寄付 高値 安値 大引 期近 15回3 15回宝 1500 1500 連期 15回3 15回宝 1500 1500 連期 15回3 15回宝 1500 1500 遠期は低落

神戶 | 子阪 | 子阪 | 子面値 東京衛

愈々五月拾日新發賣

酒銘

満洲に於ける

醸酒界の劃期的

事業遂に成る

その醍醐味を味はれよ

速に一蓋を傾けて

保健酒であります



東京 株式 會社







單位

大連古麻袋商組合では九日入都熟明一行を迎へて午後一時より五副一行を迎へて午後一時より五副一時を記に於て古麻袋歌引に帰する

但し一本等なら一間の五銭から長 さに従つて四十銭値まで、また東

上十五國位すで 五錢(和)二五錢(六)網遊糸十八 五錢(和)二五錢(六)網遊糸十八

●無難…一五錢一一。四○錢(角型、二重蓋)—四。○○(內地型、二重蓋)—四。○○(內地

主でも現在の樹なれば分家出來までと現在の樹なれば分家出來まで、分家したいのですが自 は何の散がなれば分家より歌り寄せ

クタイは現在知られてゐるだけ得てゐる方がありませんか?ネネクタイの結び方は一遍りと心

しませう。長い方を普通より心情をつける最も概況な紹び方の一つをお傷へ

ネクタイ結び方

これは!!思ひつき!!

で十数通りのおび方があるといて十数通りのおび方があるといって日本たおび輪へ受いのををきつけて出來たおび輪へ受いのををきつけて出來たおび輪へ受いのを

胴卷の近代化

が考録されるが、 が考録されるが、

代化したと思っば はならぬ耐器を近 はならぬ耐器を近 れんしたと思っば

こう。後になるのは短い方だけでてひき出しながらしめます(当

み、その輸へ短い方の端を通し

CIDのやうに持つて來ます。特けながら裏から一ひねりして

うに撒へ働き、他の指を外へ向持ち長めに伸ばして聞へこのや

を入れようと標式を入れようと標式

といところが近く

案・秘密のバ

館を洗つて御覧なさい。

報

○銭、三間半二・二○銭・二間六五銭一・五○銭、二間十八五銭一・五○銭、二間十八五銭一・五○銭、二間十八五銭一・五一・五○銭、二間十八五銭一・五一・五一・五一・五一・五・一・五・一・五・一・五・一・五・・・</l

形はいろく〜ですが百本につき ・◆鉛…重さにより十個二銭から二 つ一銭程度、最大で百匁位のま で

/煙幕/ で霜害豫防

ます。なほ、からした品は平常

ばよろしいのです。(寺島由松)

科學小辭典

竹枠(糸を卷くもの)…二臓

家

問症

ル家庭顧問係/ 衛生相談、宛先

はづれない入れ齒

し職の降りるのを飛離することに を利用しオレンチ畑の繋割を防に 要時らしい成職を挙げた。畑一蔵 でよると監察は上方の空氣を測監 によると監察は上方の空氣を測監

顧

戸主は分家できるか

どんな手續をとればよいか

| Eるだけです。また月曜を散離よ | 総合せしむるものである。 | 一覧のである。 | ーをのである。 | 一覧のである。 | 一覧のである。 | 一覧のである。 | 一覧のである。 | ーをのである。 | ーをのである。 |

日

道樂です

伝は仕事に疲れた人へ、朗らかに呼びかけます。

なこの頃、大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸ふ野趣碗々

もう間もありません。野外スポーツ趣味の盛ん

に太公望の舞臺が展開され

そのアカシアにも

道具一揃ひごの位で出來る

(1) 決して敷湯を住がない (三) ガラスの異異同士、あるひは他の異異など重ねない は他の異異など重ねない

を なめし草ではきます。 同機を膨脂を は中に照機を乗いたもの。 かなどは中に照機を乗いたもの。 かなどは中に照機を乗いたもの。 かなどは中に照機を乗いたもの。 かかがればします。 同機を膨脂

そこで、すべてガラス器具に動し

未經驗者への釣案内

るますが、満洲は何といつても、

八十八夜が過ぎて、いよくり野天狗待望のシード

海は招く

アカシアの花咲くと

待望の、釣シ 訪れてきた

◆學校行家(十一日・十曜)
 ◆學校行家(十一日・十曜)

配や南京北は密あつて森なき れが耐能になるという世界も れが耐能になるという世界も

速、南京龍の値をせりあげや

高いものではありませんか

國語制定の緊急

調に當るといふからナン

TO TO

寄生虫相場

馬鹿にならぬ

に歩く。興味ある頭の相場に大部落の間を頭、南京観覧か

せるが、一日干匹となれば動

置を選り出して研究和上に上と動物室などから元念に南京

平域一四二厘、南京職は一

太公望黄金狂時代 砂る日があるが、風や南京都 歌に用ひる南京都等、 満郷都 歌に用ひる南京都等、 満郷都 頭の研究、散発経動の効力散動の研究、散発経動の効力散 ではない、そこで人間となる

か分らない。

さうな。どちらが寄生職なのがある

◆…生かし網… 前一五錢—二五錢

上七〇錢前後

◆…タモ網… 一五錢—二五錢

◆…タモ網… 一五錢—二五錢

◆…タモ網… 一五錢—二五錢

◆二サ箱…五錢—二五錢

本丁箱。五錢—二二百錢

本丁箱。五錢—二百錢

本丁油。一百頭豆蔔ですが、

◆エサ部。五錢—二百錢

本丁油。一百頭豆蔔ですが、

「は一時間」一十銭、一寸

「は一時間」一十銭、一寸

「は一時間」一十銭、一寸

「は一時間」一十銭、一寸

「は一時間」一十銭、一寸

「は、一寸

「は、一寸
「は、一寸

「は、一寸
「は、一寸
「は、一寸
「は、一寸
「は、 硝子器具の

すか。(大連・TOE)

分家出來ぬ

第一月主は分家は出來ませぬ 情があるならば、方法 但し方法はある

手入れど保存法

亂暴に取扱ふこ忽ちパチリ

食卓用品心得帖

でもありませぬが、手観と目的でもありませぬが、手観と目的 玉となられたお子さんを際家さ 判所の許可を得て際居をしてら貴下が滿六十年末満ならば 取るが爲めにはこ

この女優は容要に特にすぐれた

畵

ます。脚ち新本雅を風書に配敷を要するからであります。戸郷であります。戸郷であります。戸郷であります。戸郷で要するからであります。戸郷で要するからであります。戸郷であった。 が職職地の市町村長に展出づれして管戸職勝本を派附して戸主

その平凡さの中に、更に、それは

われ美しき後

中村武雅夫 東然大師制となった問題の小説。短 東然大師制となった問題の小説。短

の高かる場が奉仕が懸めた、音楽を書と気ので味る 雨傳 和田邦坊



夜風は冷たけれど、嬉しい出所…『上は大場元小崗子署長』「ゆうだ

先頭に 井上信象、森萱

三十八年の長日月を関した鎌倉保に育つた少年少女の敬彦事業に

現在の心境は大體公判廷で申上

と言葉少なに遠慮したが、現在の

小徳の至り

消ゆるが如く自宅へ配つて行った

只謹慎するのみご

言葉少なに語る大場氏

宅したばかりの大場前小崎子

興傷衆部事件公判は世人注目

各独生 に對し鵬東地方地を総つたが難て保機出職中の地を総つたが難て保機出職中の

大語め寄せ時ならの混雑風景を現 には各家族、友人、縦鹿人等が績 には各家族、友人、縦鹿人等が績

間に對しては何も申上げるわけならぬ身の上ですからこの際世

きのふ石頭河子驛で貨物列車と衝突

接收後最初の椿事

名死傷

(可認物便郵種三第)

晴

天覽馬術

各將星の妙技を臠はせらる

日午後二時から宮城内舊本丸馬場 の天魔馬術大會は初夏の日輝く九

盛大に行はれた

この日天皇陛下には御菱馬白雪

題の一我が陸軍時れ

に於て林隆相以下百三十一名出場

國際列車顛覆

大場元署長ら十名

保釋假出所す

はじめての事性である

大席祭部補鯨隣恒(*■)外七名に監(性として知られた元安東東市出係) 境密輸に絡まる 繁育の 優職事

鎌倉の

方に参つて居り一

「後一層努めて及ばず一般が代理として参った

佐竹翁へ御下賜品 海

の巡視船渤興、渤安號

な姿を現す



・動かせて戦いてゐます。 て社文中の鴻神監部県、郷安(長 第日航政局より大洋船県「場に像

雄大明媚な戦跡 きのふ 下檢分を終 称る

再業若葉に彩られて

明卿、日籍後後後近に明卿、日籍後後後近に

有山市社、二道河子水源池附近 卷符)原田農園餐廳西亞兵營跡後待)原田農園餐廳西亞兵營跡 高田農園餐廳西亞兵營跡 医一日は金州城南門、王永

州、旋順方面戦闘見學は愈々來る本社主張日露戦役三十周年記念金

上二、十九の兩日舉行されるが、 十二、十九の兩日舉行されるが、

箇所は勿論のこと窓外に眺めゆく だが、季郎は経好の時であり見察 であり見察は経好の時であり見察

見送りませう 白衣勇士凱旋

十日午前十時はるびん丸

は胃臓をこわされ

死者 邦人前田某外满人一名、 は順復破壊し、死傷者多數を出し

復態の見込み立たず、北畿送収後の数域が重が配ひ、死傷者は横道の見込み立たで、今のところが一手勝続に収答した、今のところの大きが表が重が配ひ、死傷者は横道の

なべからざる汚名を少しでも早 なべからざる汚名を少しでも早 なべからざる汚名を少しでも早 に情語の漢にくれつい語った 懲役一

引きもきらぬ参拜者の群れに

奉祝氣分みなぎる

賑は八

大連神社春季大祭の第一日

に上ると云はれる物度さだ

人る手前ではタクシ

事件判決安東の潰職 灯が一層に點され、また連鎖側、一市内各月の軽強に日が暮れるとともに

し振りで我家へ

口航政局誇り スマ

一大八節の快速船は勝東州近海に 一隻もないのです、海部局の海は 十節ですからね/と鷲口航政局の です、海部局の海は 大節ですが各種は誇つてある(高勇 はその快速船は 結婚申込は

衛し哈爾濱第四軍管區顧問部

僕にとつては肯定し

青葉若葉に薫る

CONTAX

橋本日

本部1.見學(五月九日)奉天本記1.見學(五月九日)奉天

けふのメモ

午後八時迄の参拝者はざつと二萬

余签會 午前九時半より午後

お蒲團

の御用は

電(三) 二二二五

各

新鮮たる珍品植木大陳列

なんでも

みどりや

臺灣植物

廉賣會

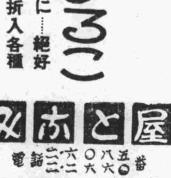
西廣場近く三十日より二十

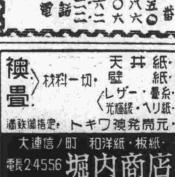
小春花園 一十日まで

大連

またーツふえた

御上品にして御客席用に… 御進物用---風流籠入---















マニラシガーの 代表 的 製品 GAR MANILY'S BEST SUBOSHIYOKO.

香り 品質 價格

九日午後六時三十分養達定のあじた。
東の機闘車と入替を行ひ、二十四
車の機闘車と入替を行ひ、二十四
車の機闘車と入替を行ひ、二十四
車の機闘車と入替を行び、二十四
車の機闘車と入替を行び、二十四

あじあの延着

少年燒死す新起街の火事

鎭火した、韓方次男相騒べ八戸全機、二戸半機して九時十

一分二十列車は統一時間運費した。これがためあじあは終五

今般大連市西崗街九〇番地(市場前電車停留場前東)に大同醫院を 勤務するここが出來ました厚く御禮申上げます 小生 大連醫院に在職中は永ら 大同醫院開業挨拶

開設するこここなりました何卒相變らず御賜教被下度御願申ます 各位の御愛顧により面白く有益に 元 煊

松本紙店へ大連市伊勢町四〇大連市伊勢町四〇

壁天井紙

IKON SEIZZ 新緑の御旅行に ZE-SSoカメラ あなたの 氣まぐれのスナップ ショツトが干金積に の思ひ出こなります お氣にめす ZEISSの 頭 カメラをお撰び 満洲國宮內府・關東軍々裝品酒保 チチハル司令部酒保一手御用達 大連市浪速町通 新京日本橋通 奉天・ハルビン・チャハル 本店支店

その代りにやア親分、いゝ

つらかりやすがつたし

タンジーロ紅ならば塗ったさ見いの自然のお唇をたさ見いの自然のお唇をあり、タンジーは 進用の数あり、タンジーは は進用の数あり、タンジーは カーカル・マンジー シアトリカル

ANGE E ANGE E LOOK A5- マックリーン会社 東京市京都県発展工具・東京開ビル

季入れせざる屋― 色あせて見え活象に乏し

プフアリンの発表となるレチ・シャを

運動力の養領となるグリコ

となる。成分となる。成分

申込夫第無代で急殺すの事を事業と、おりのでは、一般を表生のでは、これので

0

唇

男性の賞讃

皮膚精動 大連市西通河 大連市西通河 大連市西通河 大連市西通河

岩太郎の聲は凝つて酔つてゐる

重富醫院

明るい隣座敷では、勧太達がい

聞くに堪へぬ暴討なのである。 をいざいでるたかつた。 自由になるなら、 日

のお袋つてのが、

につて、髪の上に漉れてゐる光り 職の中に、一般でとに漉れてゐる光り みた。しかし駄目だった。 ちめな領持につきのめされる。そ 一に身をもがいて

ひがけれえ儲け物ですぜ

て、しつつけえ婆アだつた」 「へえ、あいつのお袋が……」 まらねえやなし 「あんな婆子を人質にしたつて始 見てやつておくんなせえ。あの野 なはも耳をすま と初音は腕をといろかした。 なかしても、こいつばか

(+)

子

號

やつて來たから: 遊はア」 之介 (78)

「えつ」 か、備アまたさつきお袋が

サン(パラオキシメタアセチリン(パラオキシメタアセチ

代題以 日本寶藥株式會社 年天市加技町 與實元 萬有製藥株式會 (價格低廉)

れ 「まず親分、ようがすか。代はみ 数太は立つて、合の複をガラッ と開けた。 和洋御料理に 外市屋古名

.にか朗を活生てしく强を膓胃・

さ薬投に者病でれか書に箋方慮の家醫はンミロサ劑重責◆

◆すまり居てれさ登販もに店鑵名有の内市がすまり居てれ

號

◆胃が悪くなると、 食寒が悪くなると、 食寒が悪くなると、 かりでなく、異常感 化されない食物がる

食慾があつても、

理由からです。

方々の爲に、特に御注意申上げます。

O-九三·二電·角場広西甲泛近連大

湧き出つる教智の源泉ともなる

でもある

回本

弱い方は勿論、發育時期のお子達

もあります、香り高い高級煙草は貴方方の氣品を煙草は嗜好であり趣味であるご同時に社交の具で

一増高伸ならしめます

醫者は言つて 田 月か **かる**

たけの力を持ちません。 從つて、胃で消 あなたの胃袋は、最早さら



爽やかに 今ぞ新線 朗らか ゆかしい整髪美 青。

春

ウテナポマード

能率增進

幾層倍!

サラツと輕い

洗落ち心地

頭髪が綺麗に整つて、

に夫丈らか髪毛 にかやなし ーマポ性物植純るすくし美

食物を消化すととが出来ない。だから。

顔色が悪くなり、元氣は衰へて、何とな

を 一大五〇二番

洋 服 は

・・・イワキ町口活館トナリ

日滿に對抗すべく

極東交通網の完整

日

現地に於いて日本政府と交渉を續け大會社の設立を見れば當然其の中に勧含されるものであるといる、機関演に謀解を得て五月中には會社の設立を見るべく此の會社は將來理無的な大移民會社設立までの暫定的なもので、

に土地であつて、中央に對しては大藏省に於いて收支計數の認可を求むれば足る建前であるか附けた五百萬國を出資に形てる語で移民地は既定の方針通り満洲國が東亞樹業よりの貸附金で買異り、日本歐肝の出資を必要とせず、濱洲國と藩總の挑争出資至額拂込として、濟總の出資五百萬國は既に東亞勳業を通じて清

沙州

親日の徹底を期

一整委員會改組か

八日曜せ出された、陛下にまで御駐撃あらせらるる岩

の政府で目星をつけた審議會競長は隣田首相の命を受け八日

でも同様の形式

青 出 齋 木 本 籐

信達 光雄

佐賀縣人會役員

艦答を得た上

田首相が鈴木源解を得た模

R それな、蔵氏方を懸識せしめたが 同日中蔵氏を承認した確は左の如 くである

聖上行幸

葉山御用邸へ

的に陳容整備に飛出した、即ち吉と訴査局が民に伴って政府は本格というの定に伴って政府は本格というのでは、調査を持つの定に伴って政府は本格という。

す、黒田長知男

影響を加工を一機構上の工作に着手し八日吉田内交渉せる方。可決を見たので、岡田首相は直

各方面に活躍

要な打合せを行ふもの

委員會の敗組に開

は其間御職養の御傍ら生物

低意は

排日

に内交渉を終るべく積極的活動に

人事異動局限

が非を得られる程度まで蔵までにゆくとも

日本の再認識要望に會し

黄、王二氏協議を遂ぐ

一般北支館局に関重なる態度の

して警部の強調による期日貨にある機械であるがその底管は依然とする機械であるがその底管は依然と

就任承

外諾

傳へらる、人々

國策改定の最高機 関策改定の最高機 関策改定の最高機

電信された内閣審

揶揄してみたが、そんな軽い揶揄

んから何か電話がか<u>いつてこなか</u>

では解除されない性質のものが、

つた?」

いや、何も電話はかかつちや

いる申譯で個

一扇目前同家を擦行廊京した能つて同家は既に現地を離れる演事粉局、大殿省に感輸を求める事となったが、此家は壁に散・立する事になり、去る四月未來京した陸軍省平井三等主記正と協議の上、窓々現地景を搬定し、平井主記正である ご種 々研 究調 査の結果、 將來大移民會社 ごなるべき日滿合辦の資本金一千萬圓の滿てある ご種 々研究調査の結果、 將來大移民會社 ごなるべき日滿合辦の資本金一千萬圓の滿である ご種 々研究調査の結果、 將來大移民會社 ごなるべき日滿合辦の資本金一千萬圓の滿である ごしても 何等かの 形で設立すべいすべいが、日本欧田資が紫癜脈像にて採み選され、倉融設は、

當時の關東軍特務部に於いて研究の結果、大體資本金五千萬圓(其中日本政府出資二千萬圓)を以て新京電話】瀬洲に對する日本人移民の根本方策を確定する日瀬合熊の大移民會礼設立業は、昨年十月

を確めると共に配々取沙状されて 會見に於て黃郛北上の意思の有無

、 総に振り渡 ひらくに至つた を始め、米人 期中は何等手段を講せぬ種りであ

在留邦

八愁眉を開

り潰

內審委員候

補に

積極的

交涉

惱める黄郛氏

胂

盛武 村本 人行發 治代喜本橋 人 網 生 縣 里 南 人剛印 地番一卅町園公東市选大 社報日沸騰影會式柱所行發

日満合辦ミト

五月中に設立さる

食本金一千萬圓

圓滿に解決せん

人會社への暫定施設

子倒不

中、加壓 見學武官歸滿

如くである。

カ州排日土

地法案

研究會議

の第二日 南藤洲瓦斯會町瓦斯安 で総政会を派艦

が並に満洲大豆 ころ感か断長の更迭が 一・ころ

関家関務銀行に離って電声をして を架めるとは考へられず、紫に新 を架めるとは考へられず、紫に新 が流伝されてあるが儼瀬するに郷が流伝されてあるが儼瀬するに郷 で、従って歌所部内における不安という。との見解から必要以外の人事 一日も不安の狀態に置くは面白か もやがて設備するものと見られて

愛戀十字街

(63)

橋本八百二繪

淺 原 六 朗

機器午後二時半終了した を取り午後は引搬き野戦〇〇號を 中に亘り離心に機器此處にて豊登 中に亘り離心に機器此處にて豊登 南司令官檢閱 日酸國通」滯奉第三日の 青春の人生(こ

のなかからはなれないで、それには、容易く見つからなかつたが、 好に頭に 戦口をたのまれたとなどを考へる吸ひながら明子のこと、明子に就 手になんの技術もないお響さり ともなく若へてるた。もち 「何處からだか、女の人からださ

する。他が水中から漂きるがる以上を、明子の姿か、に、 に描く他のやうにうかんできたり、明子の姿が、ぼつかりと水面にしい仕事をしてゐる最中で 引きずられてるた。

白根新翰長

十日に發令

れず、明子のことを奪へると、何れず、明子のことが頭からはな か楽しく、 のがある筈だ。楊瀬な性質の森だ

優しくなる自分が呼楽し「何をさ?」のことを考へると、何 も側信じない

・ 個係じないの?」 「何か、用事つて、あんた何んに 「何か用事が出来たんだね?」

要では中々癒らず、何れ がサやオデキは普通の膏 がするになつてコギれた りカ

薬では中々癒らず、

のど家庭でも手をやくも

デシチンが良く効きます

ジクラ

で、そりゃ、有難いなア」であると明子からぢゃないかと思った。森は光波を云ひながら、若しかってると明子からぢゃないかと思った。森は光はなしよりもさきに事務望った。森は光はなしたので行つた。

お側ひしようと想ふの。お側ひして他言さん、あたしこれからすぐ 賦子の際はいつものやうに難く してゐた。

定、左の如く総合されること、な 氏に對しては十日の閣議で正式次 官長として起用に決した自被作介 官長として起用に決した自被作介

東京八日設國通」駐日英大使ク 英大使外務 從三位勳三等 白根

次官訪問



カサブタが獨りでに剝がれ

出來てキレイに癒ります

創面に少しもシミす、繃帯

非常に早く新ら

しい表皮が

ガーゼ又は脱脂綿に展し欄ヴィタミンAD外用薬で…

次官を訴問、ジョージ幣下の武典の際、松平大使を代表として参加させられた好意を謝した後、欧洲ではられた好意を謝した後、欧洲ではいる。 一(常任幹事)井手治一、峰儀 一(常任幹事)井手治一、峰儀 一(常任幹事)井手治一、峰儀 配入)今回新任じ八日大連各方配人)今回新任じ八日大連各方

「サテは感したかな?」 つてしまつたんぢやありませんか「朋子さんが、何處かにゐなくな

サに特に重實がられます。 へが出來るので、 小見の

と剝がれ、痛まずに取りかがクッつかないでスラー

水むし、褥瘡、 膿みきづ

だれ等のコヂれたものに たゞれきづ、痔疾、耳

も氣持ちよく奏効します。

撤布粉六十五銭 薬店にあり ・ 一 園三十銭・ 六十銭 被 田邊商店

五百四萬

假皇宮增改築

近く着手の豫定

北鐵代價物資購入に關する

三國委員顏合せ

差監り日瀬南國を育成すべく 差監り日瀬南國を育成すべく を云はれ、能つて蘇歌或所部 と云はれ、能つて蘇歌或所部

リヤ開發に積極的工作を開始

ででいる。三ヶ年記書で、シベートででは、三ヶ年記書では、三ヶ年記書では、一個園のででは、一個園のででは、一個園のでは、一個園のでは、一個園のでは、一ヶ田のでは、一ヶ田のでは、一ヶ田のでは、一ヶ田のでは、

日ソ貿易の

デニコライスクに至る線 経てチタに於いて分岐アムール 経てチタに於いて分岐アムール

舊北鐵從業員を使用 ・ 中鐵道タイシエツト購 を第一、第二建設局を設け米國ルクツク、プレヤストキイに夫ルクツク、プレヤストキイに夫 に本年度内に完全

振興策研究 **程費を節して** 運賃引下 一般に出席したが一般に出席したが 國線全般の運賃改善に就て

宇佐美滿鐵理事談

では難に輸入貨物に数する原産 の反数に避ひ行儲み中であつたが の反数に避ひ行儲み中であつたが の反数に避ひ行儲み中であつたが では難にが入貨物に数する原産 では難にが入貨物に数する原産 であったが であったが であったが であったが であったが であったが であったが であったが であったが た結果左の諸甌につき意見の一致。一般國ホテルに於て午餐會を開催中一般國ホテルに於て午餐會を開催中

記日ソ職大使記は、八日此程

官制は八日の個所太 るかは分らない

平はかゝるだらう でうにならず困つ でうにならず困つ

内閣審議會の

我貿易の發展に が微でより演売園或所部内では六の國務院會議に上華十一日参議所

憾なきを期す 町田商相の訓示 生産品を特に購入する事に依つすと共に或は我商品の輸出先の商工省に於ては輸出の統制をな 下に調査局、事務局を置き決議機下に調査局、事務局を置き決議機 開として強制力を持たせる案であ

してゐる國がある▲外突は都で處 樂蔵郡なるを要す、癥蹶畸數の意 いして 自然全盛の現代に於いて 鮭の半身を見せて日本を釣らう ても聴いが態味し過ぎても つたが▲其後の經過はこれも何う 張りを固執することにも熱心だを作りたがる反面に於て自己の に成功する可能性はない▲民間に をよく森だつたが、同僚の難談からはなれて、賦下をぶらりぶらり いつもは食後にかなり無駄口を がいつもは食後にかなり無駄口を

つ森さん、電話ですよし



言るの。でも、そのことで、あん 言るの。でも、そのことで、あん

がかゝつてきて、あたし行家さんがかゝつてきて、あたし行家さん や本當の話かい?」 だれ。南郷……」 の家に行つてみたんですよし アさんは氣狂ひの様だつたのよし なくなつたと云ふんでしよ。お母 で、そして明さんが時がからみえ「行家さんのとこ、お引航の最中 「青棚君とこにも電話をかけた 「驚いたなア、あの好かそんなこ 思ひきつてきいてみた。 は、よほど何かあつたん れ絵へ。待つ

数から一回に分数から一回に分

長の御物脈に訴へます』と前

のま、今日までのま、今日まで

各被告交々否認す

生命に別條なし

拉致される途上健氣にも書き残す同胞

八質の手紙拾は

では、 が七日社會館に始つてみることを 総に機嫌し大連製金飛事によつて なる。 白畫ガス自殺

一時頃大連市大黒町立山

新京の自動

車强盜

奉天で捕はる

口を拭うて潜

伏の二十四日目

きのと

へとも就縛

金儲けでもやらうと歌心

殘念がる立石被告

十五名の審理終る

間の弱さに

られてゐるものと 動は肥暖の當め山から山へ引きず られてゐるものと 動けれる 朝鮮から手配

務所長田中金一へでしは一ヶ月前 主犯 概木喜美人("")を建

の男捕はる

り大連署では八方捜査中であつ

北安路日菊小學校前を疾走中の北安路日菊小學校前を疾走中の

哈爾濱間

ヤ改正も繰上げたい

日カ

宇佐美理事語る

哈間直通について左の 同氏は全瀬待望の人あ

と同時に全般のダイヤ敗中のと同時に全般のダイヤ敗中ので、文田来たらそとしたい方似だ。文田来たらそに

心にもなき收賄の

一部田、小野、長の三旅遊士がついてゐるが、二十一

汚名を被る無念

で養佼的態度に立つことを繋明し、近く総彦戯が悪田される筈であせまけ、毎年のかめに、竒島厳塵士は連元繁節のために何れも無機の大切に、守島厳塵士は連元繁節のために何れも無機の大切に入日午前の公戦底に描き出された大場元小猷子製成前に推元保養に入日午前の公戦底に描き出された大場元小猷子製成前に推元保養に成いて一般から概る同情を寄せられてゐるものもあるが、

更に他の二、三線度士からも大場氏のため最快的線度の申出が行は田村線度士が傷意の人情線で渡の線線を搬よべくむつたものであるずして人生の迷路に入り、全く批會的に葬り去られた境遇に同情して必要されて来た大場氏が僅少な黄田の誘激に打ち見つことが出来

れる機構で、近ごろ師のすくやうな送送判説として一般の背職を博

國道工事中の

五名戦死す

前線部

與俱樂部に絡まる覆職事件に連坐した警官中。その犯罪動機及び

百名の聖然に製むされ、全段必死一及び歴田組金菜は位金された従事員は配直祭南洋の率ゆる約二 な戦死を挙げ、國道局員室代維施で顕著工事中の國道局型に勝田組 組の寺西、黒川氏等の五名は壯烈・時度慶安の東南方二道家子におい 「仲蘇、松田音吉、室伏太郎他縣田時度慶安の東南方二道家子におい 「仲蘇、松田音吉、室伏太郎他縣田時度慶安の東南方二道家子におい 「仲蘇、松田音吉、室伏太郎他縣田 一奥に在り

蔡南洋匪二名を拉致 電新京八日最幅通 第一艘部脈及び傷病 第一艘部脈及び傷病 第一艘部脈及び傷病

使隊に ・ カプスタン 盛李

以長女貞江慶と曠衍整ひ過般郷里、日長女貞江慶と曠衍整ひ過般郷が日本郷氏は今回柳原英、川崎曹の郷が日依り大林勝次と明代の東京に依り大林勝次とは、大塚勝り、日本の東京に成立の東京には、大塚勝り、大塚勝り、

本機の特徴 本機の特徴 専に些の振動を認め 特に些の振動を認め が 然料消費減少 デ 然料消費減少

本機のシリンダーです

にが、既に死後 一品の満洲進出に乗り出す

則昭和十年度大朝懿行 社員(准備、臨

八島電々参事電水會社 並上 四季貳壹等 四季貳壹特 等等等等品 牛品 牛名

若葉五月に相應しい

半襟陳列

屋領事の斡旋で解決

並上

整膜後原剤をする、神經痛の方に大連準備街四丁目大型農業店外用後原剤服薬治療無効の方一度本劑をお試しあれ狭に肺、口

大東公司の

本月の休業日

± +

大連神社祭典

業務妨害事件

という影響に数し概能保護をなしては本月二日間別が

植氏の結婚披露

商標

萱 録

煖房水道

元壹敬伛製

番三九七三・六六八一長町新計電

衛生器具

タコマヱンヂン 十馬カ四十五貫

パルラコグ

東京市線田振り二丁目(東京電子工科學校内)男女年館不向無試験人學可一本典()とおりませて林・募集、完備セル芸術会有認日本典()とは「東京の世界)の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学

高高山



木 一馬力一時間當り九十匁以內炭の消費量

中央貿易滿洲支店

左記の通り値上致します 大連、默鳥肉面組合

10月2日中中小質價格
金七十十八次
金七十十八次
金十十十二次
60日2日中中小資價格 大日本山林會御推獎 第三浦式木炭瓦斯發生機

大阪市北區堂島濱通二丁目二番地 會株社式 全國良傷

いにはいいっと

清

會株

大阪海上火災保險

海上•火災•運送•傷害•自動車保險剧業 明治二十六年

二十

年

(=)

義俠

血涙の辯論

法廷悲話から同情集まり

辯護士連遂に起

悲痛な警官被告に

泥を 吐きを養七時路匹の金を帰贈したものです」と

終り、次回は六月贈収賄被告十五名

小林侍從武官

聖旨を傳ふ

は八日午後一時三十

海線選手井藤田

日村垣田井藤

大きな借金を

專務取締役

飛田主任語る

災保

險

店

滿洲國主要各地二

攝津海上火災保險

專務取締役

大阪市北區堂島濱通二丁目二番地

取締役會々長

TW 品加

ベートーヴェン

「莊嚴ミ

ボットール頒布會・

▼陽氣な連中ソウエート映

切目の木幅民部は捨てく措かれ

三大作近く入滿

初夏の特作

「わしの部屋の隅に竹の杖があらけてゐるやうな唐にも見える。

部と上映社では五月末より六月上旬に がけての初夏のエクランを狙ひ大 物映画を鍛く演用に入れる豫定で あるが、目下全瀬各主要都市常設 あるが、目下全瀬各主要都市常設 にと上映彩紋父渉中のものも中最

自磁を碎く

€

村川

花 治 畵 作

· (205)

にはちゃうど今日あたりがいつば、たれて御蟹に総けてゐたと見える白酸の解析が、その難ぐるみ趣石に樹めてれて都をいいているのだつた

をその枝にこめて

思はず打て、佛陀のお怒り

その遊戲は鹿に並つてるた、屋前であるが、一部の戸はあいてゐるが 名を呼ぶ響がする、微度もついけたのである。ついいて、機能勝の いついはいつし

のでそれに沿かはかけないと民部 の房にかはつて書物の一切を見て の房にかはつて書物の一切を見て にして見てゐるより他あるま 知つてるる性難勝が云ふ言葉離よりも幼少から即の勝の様 る居られなかつた。歌明の方

す。

・ いっとのでは、 かっとうでに かっとう。

・ いっとのではでいるとうでに がってくれい。 その竹板で打たれ たち、 過去の苦行が、 思って来よ たち、 過去の苦行が、 思って来よ 「性影財、おん身を修覧と歌ひ歌」にとりつかれ取しい迷路を渡日もにとりつかれ取しい迷路を渡日もにとなった。 一五国で銀行される 一五国で銀行される

がいてさし出すと、御婆はその枚がに存たせて、首を乗れてを他帯切に存たせて、首を乗れて

ボリドール・レコードではベートーヴェンの態版できる。 スーの物質販売を製造中であるが、既に大連支店等にもテスト盤が入つてをり、加入申込者もト盤が入つてをり、加入申込者も 長調」次のは作品自二十三番「ニージの「ミサ」は作品八十大番「ハーンの「ミサ」には二曲あつて、最

「お窓りにならう」
「大は首を振つた。
「この身に、響や裏師はと、先頃
もきついお顔で呼しやられた。書 元はると際、概を伴って来ると だうなさるのですか」 「どうなさるのですか」

▼外人部隊 藝術的漢質と名ある マブゼ博士「ドクトル・

國國

戟劍代時作特超回

南町河三場広西市建大

番 O一四五·二語電

八日より十三日まで六日間 (毎日畫夜三回連柳興行入れかえなし) 第一回 第二回 第三回 お 七 狂 乱 - 2。29 6。83 貓 と 提 簿 11。30 3。46 7。47 小 牧 節 0。57 5。13 9。14 料金 八十銭 - 園 日曜 (十二日) は午前十時十五分開映十一時まで御入場の方に限り各等二十銭引。 (毎日畫夜三回連機興行入れかえなし) 第一回 第二回 第三回 第一回 第二回 第三回 第一回 第二回 第三回 第 七 狂 亂 — 2,29 6.80 藩 と 機 零 11,30 3.46 7.47 小 牧 節 0.57 5.13 9.14 料金 八十銭 — 國 日曜 (十二日) は午前十時十五分開映十一 時まで御入場の方に限り各等二十銭引。

建人士てしと景言をルグンヤジは重映のこ 製造は時るありあで関手大ふ洗を加で血が 蓄映る見にれま來近りあどな事間のと

現代悲活劇 九日封切

主演

R

キュービー 毎日のお食膳に 不意の御來客に マヨネーズ

ステム軟に中核菌を「嗅るく動に母」「スロドマの戀」「唄守子の城赤」「町の境國」歌行流の意得が郎太林海東者氣人の一強代雷

ステ場登に逐篇玉珠の望待

ð

すでせ合組の前空のと郎太林海東と子みふ路山 详見沙·晃松立·子貞木荒·枝解田岡 載所號物濃ルーオ・代千八田岡作原 一光山行影摄 • 臣博崎松曹監

·(一二一二A)ドーコレルードリ ボ歌題主

ーキート・トーバ・書映作特ロブ寛

しな替入行興回三・りよ時二十

歌行流9

これぞ時代の最実端を行く



大宮小夜子

氣愈々最高潮 世を擧げて流線型の流行時代・

素晴しい唄だ! 跳だ!

三島一學

C 家保健 変し割 + : 3

は胃臓をこわされ 頭痛藥

篇王帝歌行流たれさ化器映に邀 ートルーオ 作 特マネキ 奥 新 晃 松立 • 子貞木荒 • 子みふ路山 大 ドーコレルードリボ

手 20

G **以**





日活

國幣は現銀を離れ

震旺盛を見越し

四月は百一

石油賣上高

十月頃は賣上約三百萬圓こ豫想され

一點百五十萬圓に上らん

大豆低落南支筋賣に

後場市況元

ントと製品が主で、前二への資洲ベイントをはじ

關稅賦課

日本品に高率

南道島の研究並に調査之に 脈放いの表別により 氏の来南は財政部の表別により 通貨膨胀をに在る事を基礎に置けば、出また前場に引続き二井登職の質・製態脱血に影繁團の通貨制度が管理・に買ひ十二萬枚の出来高、現物豆・製態脱血に影繁團の総付き強化を・辿りしも現物には三井、三穀優勢・のを表し、豆粕は大豆に伴れ敷却を見た、豆粕は大豆に伴れ敷却を見た、豆粕は大豆に伴れ敷却を見た、豆粕は大豆に伴れ敷却を見た、豆粕は大豆に伴れ敷却を 統制に轉向する準備であるものと

奉天中銀支行 擔保資を取締る

對支舊債の

第三次交涉

紙幣圓に結付き

國幣は安定

滿洲國財政部囑託に就任した

高橋氏は語る

ふもの多く地で特盛僧様の職責をはこれを利用し大意の質占めを行 行つてゐたが、各種穀商において する器であるが、銀行艦を脅損と まる器であるが、銀行艦を脅損と を行ひ財政部艦係艦敷及び九六公 を行び財政部艦係艦敷及び九六公 を行び財政部艦係艦敷及び九六公 を行び財政部艦係艦敷及び九六公 を行び財政部艦係艦敷及び九六公 を行び財政部艦の整理交渉を開始

下財政部に於て極々研究中である低した高橋艦吉氏は六日夜來京日低した高橋艦吉氏は六日夜來京日

日産の棚上で

を行ひ財政部職係借款及び九六公 (職) 一千五百萬圓の監理交渉を開始 する管であるが、銀行閣を會員と する管であるが、銀行閣を會員と する管であるが、銀行閣を會員と

貝柱躍騰す ○二一職にして、前年同月に鑑比の月中における大連電血に甘井子四月中における大連電血に甘井子 七髪、六六、三六四順の増加を

能、動教をより、「○九」ぶし八日大連でまる代している。 同期 ニニュカ○九 ニー・一〇四 境勝の避るにつれ意子論の監論を同 期 ニニュカ○九 ニー・一〇四 境勝の避るにつれ意子論の監論を作 年 ニニュカ○九 ニート 夏 本年は各手筋一齊に買出動か 少弱氣を心したものが、 満計不定日 洲 定 本 3國 期期

メイギー インララタ 洲 カツスウスーダス 1 聯那國 五品(本) 本語 (東京) 本語 (東京) 本語 (東京) 本語 (東京) 本語 (東京) 中華 (東京

出廻減少で 北滿材品

如く日産が五千種に上る棚上げを

幸促

ヘイント工業は

地元會社が有利

占流行の折柄成行きは、海産物界に出んとし、海産物界に

内地製品の割込猛烈なるも

續々擴張を計畫

過耐代表
ご日本側

更に個別的に會見せん

満洲の物資購入に關して

八日後場の

大豆低落

日

九〇三関の減少を一鳴へるに至った、

かく價格の吊上

沙州

满

度海外に流出するかを調査するに考へる必要もないが唯だ海洲

現銀は認めて現狀では別

中定期(單位錢) 中定期(單位錢) 寄付高值安值大引 日限 10回1010回101回10

比し約一點の値上りを見せてゐる
れてゐる、これは例年に無き暖氣

期々の入荷であるが見れ二週六十銭の 値で

日鹿兒島物上場さ

仲貴筋は長崎茂木枇杷の入

信二圓二十錢を鳴へた 信二圓二十錢を鳴へた では、一個二個二個一個一個二個二個四十、 一個二個二十錢を鳴った 商盛を呈す

ネープル入荷減

大での戦上庁は制度であるのがある。 一月十日より経順されたが戦撃機器を の戦力に依る四月中の成績を想を の戦力に依る四月中の成績を想を の戦力になるにも加らず、二十萬國 大での戦上庁を見た、株に哈爾濱、奉 を記述するにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らず、二十萬國 日本の戦力はなるにも加らながある。

表=加盟會批十世四月中の生産高

人絹製產高

四月は激増

響を示し又復新記録を示現したは合訛十五萬七千百五十八個の激

大連卸相

牧逸馬

※金子福松 神田ろ山

菊池 寬

のに対しては契約を思新 立を見るかは注視されてある、な 代表を指統楽品書を膨す別的情見に於てどの程度透過感成 四時よりヤマトホテルでなすことになつた、加してこの勝一様ク職職事能では引載されてことになった。加してこの勝一様ク職職事能では引載さ

所は日本殿に麩し野に蘇翆園様を だいバナ七日教園通 キューバ政 **玖馬政府發表す** で昨年の約二倍見當の觀測さを像 ため既に"製"しい吳服測物の入荷 ため既に"製"しい吳服測物の入荷

彩安に反し同事である

入港船

四月の大連

本年の吳服薄物

賣行昨年の二倍か

原料薄で手染中形騰る

川口松太郎

停戦地區を行

1

亘つてになく歴訪し、同地帯の治一安、行政、經濟の現版をつぶさに一根祭するを得た。☆

参加せば除名

如く政友不参加によつて生じ

は參加拒絕

水野氏の意嚮

首相各方面歷訪

審議會參加を懇請

次國防充實計畫

五ヶ年繼續事業と

明年度は一億二千萬圓

萬圓柱度を新規要求と

し明年度に

武・日宝では大要左の見解を洩しいまった。右事件に献し富地日 支配が力の暴災に對し非難の聲が にテロ手段を用ひるに至った支那

政友會は斷然不 鈴木總裁首相の懇請拒絕 鴬代表さして

清氏を加へて五となつた。
一般がある。
一般である。
一般である。
一般である。
一般である。
一般である。
一般である。
一般である。

は財衆から採るか又は野衆太郎氏に交渉し、

を際同約一週間の像定で新潟勘視代科學の年前九時上野縣後列車で紙秘書話いて変

九日中に顔ぶれを内定

に愛加した

チ・ソ

兩國間にも

互助條約を締結

内容は佛ソご略同様

において<u>窓々</u>空前の大演語を開った場合を開った場合を開いた場合を開いた演話を開いた

米聯合艦隊

真珠縛に入港

東書を出義一覧に三百哩を職てた 東書を出義一覧に三百哩を職てた 要書を出義一覧に三百哩を職てた をは九日午前六時を期して

東郷像

米國海軍の大演習

在するが朔日切損と共に良場酸 シャン群語に向ふものとしられるした職合艦隊は近くホノルルへ 附されてゐるが一路北上アリュー

閣員手分け

審委員候補

萬

伊工兩國和解

成立は望み薄

これる事となつたと思考されてゐる、而してその内に、近く隣國政治 み多少變更を加へられてゐるもので以テェッコの特殊の事情に置いている。近く隣國政治 み多少變更を加へられてゐるもの ている事となつたと思考されてゐる、而してその内に

ア委員と併國應委員と會見する器 一窓の案みを乗てず、近くエチオビ 心態に 棚しイタリー 欧府は和平館

▲コツホ氏(ドイツクルツブ會社 ユンケルス飛行機會社日本總代 理店長)同上 「本高不二郎氏(同上營業部長)同 「由上 滕一郎氏(承德稅關長)同上 解哉氏(前大連市會議員)

司上 (大連選院産婦人科**醫** 長)同上 長)同上 (关

使語書記官) 同上 結城司郎次氏(在瀛洲國日本大 結城司郎次氏(在瀛洲國日本大

彌太郎氏(大阪府土木王事)

を輸二氏(最々營業部長)同盟直造氏(竜々營業部長)同 《中佐》同上内地へ

▲大橋魁三氏(端巌無順灰麻製油 本山内靜夫氏(電々総裁)北端視 察のところ十日午前八時四十分 察のところ十日午前八時四十分 ▲粗谷陽二氏(南洲電業顧問)同上 ▲五十嵐房吉氏(大東公司社長) 來連述東ホテルへ來連述東ホテルへ不連述東ホテルへ不達述東ホテルへ

時間の正確なる古界的レコードサ七回

本 店 奉天加茂町一四 電

支 店 大連吉野町八一 電(2)9294

店 新京入船町二ノ三一 電 5943

支

文 店 哈爾濱中央大街一七 6339

35年新車到着

日本旅行團陳錫外二十名 速入港豫定)天津基督教青年會

空軍五十

も参加

7.學的立體戰展開

進められるものと歌られてゐる にの和平手段は失敗し戦命は益々 にの和平手段は失敗し戦命は益々 にの和平手段は失敗し戦命は益々 ▲郡山智氏(滅鹽理事)九日午後 隅へ

ナン佛空相

▲吉田芳太郎氏(吉田商店社長) 同上 ●西村勝太郎氏(野村生命專務) 同上 ◆寺本雄造氏(同社員)同上 ◆芥川順治氏〈神戸海上火災專務〉 同上 川昌二氏(關東軍經濟顧問) 買歌吉氏(大阪海上火災專務)

▲竹內可音氏(同)同上 ▲竹內可音氏(大阪海上保險取締役)同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上

紹介著書

アメリカで好評

リ顧問の滿洲

▲ 稻宮父吉氏(第一生命營楽課長) ▲ 選燦大氏(同社員) 同上 役) 同上 本物次即氏(東洋紙袋取締役) HK 菡

才

『上海八日穀國通』去る二日夜半 より三日未明に重り天津日本租界 において國憲領社長部と溥氏重長 において國憲領社長部と溥氏重長 において國憲領社長部と溥氏重長

質のみならず、各内外人間に多

及び犯人操縦の言後の力

* 則反

形の虫子し始まり () 都議會組織工作。始一といへ

を短らす所以であると信する延いて支那一般大衆に真の福利結局日支關係調整の正道であり

なやうに、要するに

安確保に當つ

に摑み出して之を根絶する事が に摑み出して之を根絶する事が

比難い、吾人

遭難原凶が遭難兩氏が平

の非武装地域

駐支公使館昇格

有言公使歸任後實現

のため山崎理事を伴ひ約十日の録 定にて九日午後八時が列車にて出

イヤと首を振つてるのもある。 先づ並べて見た山人形、コッ

地域であること

開によつて維見軍隊にあら

の顔なんてクシヤミした鍵を発起に見舞はれたヒツ・ 難りないことに於いていづれも ドイツ、和脳策に転向か。

酸、哈爾濱に向ふ語

一君と三畑、対于鷹の総合は奇扱。 そのヒットラーがベーカーをお

の面より滑稽である。

木主事藤井蘭太郎の三氏は九日

大阪府談一行 大阪府倉

合合社資 隶德洋

満 乘用 牛 自 動 車

ヤ デ ラ ク 8

ラ

方

貨物乘合自動車

天津暗殺事件は

送金額は約

昨年の渡航約三高

一億二千萬一億二千萬日の聯緊は

上農業八上

親日一競態の暴露 我上海武官室の見解

ジ

ツ

1

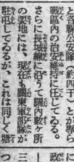
ス特約店

昭和八年五月三十一日塘

北支信談の結果支那側の懇談によ

満支友好の良き楔

特殊行政地域



廣軌線を視察

古事が集のを続り、

ゼネラルモーダー

特異性であり、

展 である、但し有吉民は七月の任期 阪市である、但し有吉民は七月の任期 阪市である、但し有吉民は七月の任期 阪市である。但し有吉民は七月の任期 阪市である、但し有吉民は七月の任期 阪市である、但し有吉民は七月の任期 阪市である、但し有吉民は七月の任期 阪市である。但し有吉民は七月の任期 阪市である。但し有吉民は七月の任期 阪市である。但し有吉民は七月の任期 大主 に新京の國都建設狀態を視察し、に當り大連市の模範的放射路並び、 に當り大連市の模範的放射路並び

外の事故を勃發させた例は少

でのため全蔵的調査について討議 立のため全蔵的調査について討議 土地科長會議を招集し土地制度では全演 土地科長會議を招集し土地制度では全演 人とするものであつて、今第一回 三日間に亘り中央土地局では全演 んとするものであつて、今第一回 三日間に亘り中央土地局では全演 んとするものであつて、今第一回 三日間に亘り中央土地局では全演 のため全蔵的調査について討議 に依る王道政治具現の基本的工作 地政の根本政策を確立すると 土地制度を確立

でし地職の調査整理、報査、設定、演洲國皇帝の御赴日に際しての際。 すこ年半を選した今日各般の準備を 同に保護された、右側での聴言は 行いを基礎づける 監察への測示は九日午前十時より のを基礎づける 異へ國家行政の永久的發展性政府百般の行政に各種の便宜

就中深察すべきは漸洲におけ

米國經濟視察團に 借欵申込

型 れに對してその機関な言語を述べ 要れに對してその機関な言語を述べ 要が必に終りを選げたが、支那政府に は意々既感ののつびきならぬ行転 は意々既感ののつびきならぬ行転 がある。

あるが、村井監務科長は左の如くに新紀元を動するものとしてそのに新紀元を動するものとしてその 獲得にその目的を有し関って、何れも政府の直接 というでは、 はず追加な乗る満路地方部でも追ひつ かぬ有機で、既定破算では間に合 はず追加な乗の支出に追はれてる はず追加な乗の支出に追はれてる はず追加な乗の支出に追はれてる 小學校を有するが、來年までこれ小學校を新増築すること」なつた

女學校、奉天に第二中學校の新設。

機能便在率中の日松は次の通りで直にヤマトホテルに入つた。なほ

『上海特電九日経』南下中の共産 を配る十里の地鉱に変した、蔣介 石氏は愛に二首師を増減をしめ一 石氏は愛に二首師を増減をしめ一 で配る十里の地鉱に変した、蔣介 では、日本に変した、蔣介

ため金土萬園を欣然として寄附す山氏にする。

日前南國民の以て翻覧とすべきる

張軍政相檢閱

土地科長會議で討議

日滿緊密化訓示

電管區 司 合、各部縣提及び日満着あじあで來奉した、驟館安雞一着あじあで來奉した、驟館安雞一

『宮藤への跳ぶは九日午前十時より』の一殿の繋船仏に転して各員の一南東司令宮、大使の管下各部隊、各一員の努力を謝し、佛せて日演職僚 九日州廳々員に傳達 以て新築することに決定、更に哈

廣軌線從業員の

天ぷらと

鈴木勞働代表

滿洲經由歸國

一大記される 大型を を 大型を を 大型を 大心を 大力で たった。 たった。

the Taste

天

動會議に出席した國際等働日本側 何ジュネーヴに開催された國際等 別ジュネーヴに開催された國際等

經大阪料理

100

涙ぐましい活

配車、

運輸漸く圓滑

支店 新京永樂町 電一九〇番 電一九〇番

列車にてモスクワ經由當地に到着を員鈴木交治氏は九日朝九時國際

で眺分の

of

Joy

大村監督部長を送つて濱洲線を大村監督部長を送つて濱洲線を大村監督部長を送つて濱洲線を

個人の要求も充た

興安教員代表

小林侍從武官

九日哈爾濱へ

の訪日印象

青城は本年九月に新京盛路局が移 でのため、新設、これは舊り職人 での経験するホルワット中駅役会を でいため、新設、これは舊り職人 電貨物議長は八日醫奉語るに設洲線を凍祭中であつた總局諸

竹下長日より右の趣旨を一層敷衍

七歳五千萬風の赤字公儀だ。假り郷全財政の寒前からしてなほ且つ 昭和十年度は韓川和得税まで越した酸風といるやうなだ大なもので かされて居る財界に、増発問 際的影響は相當に深刻だつた、 れでなくとも社會不安で極度に脅 であり、その質

産は餘り出てゐな

海軍部で撃官を襲逐したが九日午年軍事がで撃官を襲逐したが九日午

より來潮中の侍從武官小林海軍中

丸で躊連、船中交々左の如き感想

割九時二十分酸別車で哈爾濱に

陸軍士官學校瀬鮮視祭團末松中将

五十分大連發展職へ向つたが同地

帰連、隅東倉庫に一治、十日午跡を見撃の上、午後二時四十五

(那の自立更生策 内債一億元起債 隨つて唇音関係は立體的よ

於ても考究すべき統制組織の重 の小事故は、内地新來の工人が ◆世に殿はれる事簿き職業は脚くないが海上生活を能儀なくさせないが海上生活を能儀なくさせられる監察如き悪まれぬ又理像されぬ職業も勝いっされぬ職業も勝いっされぬ職業も勝いっ

小相 惠まれぬ船乘

内以行十五 ◇といつて歌歌を求むる

この現ではないが変策 にも脂素はあま 祭日、お正

力は一戦の聡浪で あるのみか、故

機關侵滅を除き働いを開き

便役、修理で上

又さうした影響の好い徳遊は音──大連で脱域。

震災義捐入

金募集

別がされるのは早くて本月末にな 別がされるのは早くて本月末にな

便の土地ではあり、満洲里に到着

換ヲ停止ス
株式名義書換停止公告

南滿洲鐵道株式會社

5

奮つて御賛同を

おな、それも、頻繁でもして下ある、それも、頻繁でもして下

滿洲里會商

になつてしまひ、海軍の限給制になってしまひ、海軍の関係制度の強ひ上げ

一十局年を迎へ社業隆盛の

を奏むは患としても確たる体

深込むことになるが、何分交通で

定、電備萬職を整へた上廣州里で を行び式渉に臨れ根本的態度を進 を行び式渉に臨れ根本的態度を進

早くて本月末

神内科 00 医院

五月八日

大連自動車株式會社指定養成所以學の好機會發了多数

水原小兒科醫院

成るべく自國民の大衆的利益が 上の競爭には各々そ

營上の要項重要工業經

社

說

Sp.

我政府前途に重大關心

が蘇帆に歸し、英米また壁廠にてか蘇帆に歸し、英米また壁廠にてか

が動を決定し、一切の野外借敷を駅 つて貨幣的方衆を遂行中なる官力 日外務省に報告があつたが、支那 の廃止なる自敷に基く經濟自力更 生は筋圓敵府の從来よりの不變の 生は筋圓敵府の從来よりの不變の 生は筋圓敵府の從来よりの不變の 上であり、適正な自力更生策に

起<equation-block>の一個の一個では、大学の一個である事情になる。一個での他の一個である事情になる。一個で内側の

發起人

五月三十一日迄

自長及び新京、哈爾濱特

首を優遊すべく訓令を凝した お書類では難に後疑さ た諸書類で式を行ひ國民一般に た諸書類で式を行ひ國民一般に

【新京電話】民政部大臣は七日

初を造製物招を人職りよ場本の萩州長 來御に當辨側の見花御・非是たしまめ すまひ頼用愛御食試伽に答贈御に答

行を訓令記書捧讀式學

高司令部では九日午前十一時管下 【チチ、ル九日穀國選】第三軍管 部書奉戴式學行

ア大將参内

一同感激して宮城を選下した 順風間において、天皇陛下に謁見 順風間において、天皇陛下に謁見 大佐以下三名を従へ、同國大使 九日午前十時半同職隊都謀長ラノ ジア艦隊司令長官アバム大将は東京九日殺國通』來朝中の米國

とになり、これが經費を初めは四

一として記念公會堂を設

御訪日並びに沿書後の記念事業の

記念公會堂 經費十萬圓追加

は

羽月商店

英

圖皇室

御

の用品

芳香佳味

ロン

ドン・ドライ・ジン

英國ギ

ル

5

會計謹釀

十萬圓であつた所、八日較事會に

GILBEY'S

FAMOUS.

DRYGIN.

GILBEYS DRY GIN

GILBEY

學校を新増設

満鐵追加豫算を計上

八兒童激增し

共產軍先鋒 雲南省境に迫る と決定は下工務科において設計するいて更に十萬國を加へ五十萬國 富豪王氏寄附

山氏は右記念事業の一職に充てる が、これを聞いた新京の富豪士戒 が、これを聞いた新京の富豪士戒

滿洲總代理店 新

大連市監部通り七四

電話長二・四八〇三 行

珍

本日大連神社大祭に付 日本各 地名 産・

世界各國酒類·食料品 謹而休業仕候 宅 9 店

腎臓病に王蜀黍毛 田本橋薬号

裁断師·未津秀雄 でサービスいたします 大津 洋服店

御家庭での寫真は 奥様の御手で・

連月入荷の新型力メラ

果して許すか 當局の否認的口吻 が話題に上り、それがまことしゃかに喧信さるよのも當然かも

嫁することになるので、出來るな

は、続局の旅客

を 等減器監は吉林、ハルビンを視察 して取内にラウドスピーカーを設 して取内にラウドスピーカーを設 の試みと

は本年始めて見る新傾向でこれで

退職金だけは緊殺上の姿物である

はソ職側が列車使用概を放棄したい狀態に陷つてゐる、満洲國側で

され戦次満人の間に残ろしい が経な印刷物が盛んに勝が の奇怪な印刷物が盛んに勝が の奇怪な印刷物が盛んに勝が

同様の文句を印刷にし一人

物の内容は呪文めいたもので勢ひで機がりついある、比略

の家族の外知己親戚までも家族、百枚撒布すれば自己家族、百枚撒布すれば自己

廠工人郭玉田外七人を芋蔓 河子部落居住保土太昌机器 八心攪亂だど御法度

布省と目される北陸街道東洋 市北市場緊急者では早くも

満洲國内に

家族は今何は

る心器感見要感 から粛洲を訪れ から粛洲を訪れ

電土監視器

では磁時が

・

では磁時が

・

では磁時が

・

では

で

で<

を訪れ國線流線を視察するため總一引揚げたが、その他の曹從業員紋會玉艦飛察艦二百名の大勢が演洲」は四ケ列車に分乘して賊に本國に上艦飛察艦三百名、七月には中京一その他のソ職人を合して約七百名

連鎖、幸福の呪文紙、

八を風靡する

毎日卅乃至四十團體

人突破か

百名の外六月には敦智運輸事務所に本年は國際服務を強度し又が加し低日州機能が国際を往復し又が加し低日州機能が至四十盟他の場がの多数機能が国際を往復し又を引来請する大保玉能の視察機に

一芸はれてゐる

麻疹患者七十餘

濱綏沿線移住者

日に三百家族

潑剌たる新興氣分漲る

お互に日本

病患の時期が動來したので各學校「市内室町小學校に麻疹患者が發生」の蔓延擴大を嘆れ一年生狭底、山【新京電話】新京では小學兄童の|當局では繁戒中であるが去る四日|の帰病者あり室町小學校では麻疹

務所馬務主任 山本一市氏

殺到する視察團

が、今になつて見れば當時十里當時の思出を新にした

かれた軍主催の座談會に出席し

を現地に行くため來奉したことを を現地に行くため來奉したが三十間年に當る今年、御書職を が三十間年に當る今年、御書職を が三十間年に當る今年、御書職を を現地に行くため來奉したるたが愈 を現地に行くため來奉したことを

御駐泊所保存に 遙々老勇 日露役三十年を迎

が鹿草機構の風呂敷に包んだ長方た大連行列車から背膨胀の老紙士た大連行列車から背膨胀の老紙士 の概を用ふため遙々神戸から老嫗を提げて渡満して來た念を迎へて常時を偲び思ひ出の戦地に殿下の御宿泊遠げ

携行の木標建立

聖地の御事職が保存されてゐなとして從軍して生殘つてゐる者として從軍して生殘つてゐる者と思ひ、若しあのなつてゐるかと思ひ、若しあのなってゐるかと思ひ、若しあの

五

るのを朦胧が繋音が訳ねたところ形のものを大切さらに所持してゐ

元陸軍步兵

心で明治三十七年日露役の當時管理人をしてゐる田中辰次郎氏

河東方約二里半の大勾部落に

「概無量で畏れ多い事だが限の邊」は総統二尺五寸艦一尺程で る自分が死んでしまへば遂に埋 が乾度あるものと信じてゐる 鬼地に行つて見ないと判らない かつたら當時の事情を知つてゐ 現地に行つて見ないと判らない が乾度あるものと信じてゐる れてしまふことを悲しみ後満し が乾度あるものと信じてゐる と語つたが、なは同氏所持の木標。

り當時の親王殿下の御英姿が偲れて來る、何とかして永久にはれて來る、何とかして永久にはれて來る、何とかして永久にはれて來る、何とかして永久にはれて來る。何とかして別ない。

会に難てるために来演したのであった陸軍歩兵伍長田中辰次郎建立 (寫真は田中氏と木碑並に佈告

◆…その主懸は去る三月十3日 一百萬圓(四分の一携込)の奥仁製 一百萬圓(四分の一携込)の奥仁製 一百萬圓(四分の一携込)の奥仁製 一百萬圓(四分の一携込)の奥仁製

私邸を破撃、國立博物館を設置す 年春經費五十餘萬元を投じて奉天 年春經費五十餘萬元を投じて奉天 年春經費五十餘萬元を投じて奉天

日は一般に無料院がする語である 大を撃行することになつた、 尚書 でを撃行することになった、 尚書 でを撃行することになった、 尚書 でを撃行することになった。 尚書 でを撃行することになった。 尚書

する事なかるべし依て弦に怖

國立博物館

ケ中隊を以て大隊の

會ふために省城に往

十五日開館式

夏防特別大隊 編成行はる

高粱繁茂期を控へ 瀋陽縣警務局

ソ聯人の數も最近はめつきり増 にごとりの数で到底これが當めにヤバレーなどで豪遊をきはめるが幹部級の引揚げ當時におけ に就職したものメー部引揚帝響者る緊張した気分は漸次失はれキを通知して來たが僅かに一ケ列。 とびはどればしたものメー部引揚帝響者を通りを表した。

輸送計畫を並て直す器にもいかね に足らぬ少數で到底これが爲めに

電局又異常の緊張を見せて緊偏の一局ではその管内の治安の 「大人」、新線の昨今各地に匪賊の 「最大」、新線の昨今各地に匪賊の」 「上人工」を 瞬つの治安の

を満州化したやうなものできまに流行した「幸福のはがき京に流行した「幸福のはがき を以て人心を攪亂する行為では時節柄だ 殿重取締方を管下 が下下であった。 一別車にて安東より來奉 に世保中學生一四〇名 三一別車にて大連へ 一別車にて大連へ 一別車にて大連へ 一別車にて大連へ 一別車にで大連へ 一別車にで大連へ 一別車にで大連へ 一別車にで大連へ 一別車にで大連へ 一別車にで大連へ 学生一四二名 二四列

國藥學學生五三名 撫順 在|五|名 二|列 慶學生五〇名 二 二

近生五四名 五一列車 七四名 二五列車に ・ 一十〇名 八四学生一十〇名 八四 ・ 一十〇名 八四 ▶銀行團二二名 二四〇名 撫順 1二二名

「そう」と観覧生は軽くあしらつ「そう」と観覧生は軽くあしらつ 五代は兄に冒配せをしながら言った。 あの時間とかいる個人と

王歳は冷やかな笑ひを見せた。王歳は冷やかな笑ひを見せた。 性を」でせら。あの時に惹き起された事 「兄さん、あなた記憶されてゐる

生四五名 一九列車

「今年は湯知殿は武殿館に低齢さ王徳がまた口火を切つた。 れませんでしたね」

うな交筆ばかり及範させ、現代的 ですよ。湯知殿がこの前試験国に ですよ。湯知殿がこの前試験国に 用しなかつたのでも そのまる一

で、夫人は子供とく

後六時三十五分列車で新三重農學校生徒一行五〇

長とする機路

勝山洋

□ 工業生三○名 同 □ 三名 八八列車に ・ 三名 八八列車に

◆これは一側です、すべての監

| 議が増加した開保上、年々多數の | 議が増加した開保上、年々多數の ◆…たとへば、鑑道從業員など

納めると共に神秘境を ・関山に赴き同地の勝

総の壁山を殿く紹介するためとの 【奉天】廣洲壁一の名勝地奉山沿 映畵で廣く紹介

の如きも遂行不能に陷るではあり
現であり、我が遠大なる植民政策
◆極記すれば、響軍既時代の東

る意義が全く失はれてしまひま れでは日本帝國臣民の一人として

て須らく満洲人の採用を止め、

本にして、一にも満洲人、二にも本にして、一にも関係を崇拝するには理論を超越した何妙かのあることを見逃せぬと思ひます。

する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
する思君愛國ともなりませうが、
するには理論を超越した何妙かのあることを見逃せぬと思ひます

◆…即ち、日発官吏の中には往

◆…即ち、日発官吏の中には往

◆…をいることを見逃せぬと思ひます

◆…をいることを見逃せぬと思ひます

◆…をいることを見逃せぬと思ひます

◆…をいる。

せんか、私は決して満洲人を

程らず探勝。奉天を出發

行門

が 対車で新京着 当一○四名 午前六 で新京着 で新京着 列車で新聞

の文章は

るれぬのです。今年度の十歳人の 大家のある文章を採用しませら」と 一王代が言った。 一王代が言った。 りますまい。お無あ

業員があつたので委員が質して 要員があつたので委員が質して 表だらうと云ふ返事で学はされ たが之れなどは明かに不勝國祖 のいたづらだらう はならぬとしてある。

田すとも決めてるない、ソ戦従業 戦中離國とも不斷國とも明瞭に急 表示をしないもの」多いのは を表示をしないもの」多いのは でも依る、尚没縦における引揚げ 従業最に難する態度が明かでない にも依る、尚没縦における引揚げ

出すとも決めてゐない、ソ職從製

開院宮殿下 には明治三

一月二十七日に至るまでドイツー七年十二月下旬より三十八年

若返りの

水

Ŧ

奉天に制

が近く奉天畿西工業區に出來る響産しやうといよいと贈かな工場 名になったホルモン酢をふんだんに 高硫酸相の若返り秘薬として一躍有 聚造工場設立 としちち一小塚は鬱脚塚に當て三大人が全一四一人)を以て一ケ中隊(一三大祭旨を選携して四ケ小隊(一三大祭旨を選携して四ケ小隊(一三大祭司を選携して四ケ小隊(一三大祭司を選集) に市城の治安に重大なる影響を及に市城の治安に重大なる影響を及ればす重賞にあるのに極み今夏の高います。 別警察大隊を編成することになり

武の方法を以て編成される
北、下川、宍戸、小野、佐澤の各
指導官之を指導輔佐する全く軍隊 職銃小膝を置き大隊長には劉繁務 車隊二百を以て編成する特殊部隊 車隊二百を以て編成する特殊部隊 を置き大隊長には劉繁務 力を構成、外にトラ 殿育生は相郷らず法螺を吹き始になりました」 番嬢を揣着の次男に姿らせること終の紋を結びたいとて、老師は二

なは同公司では

團體往來(八日) か」と王仁が跳ねた

歌跡見學園五五 間上 同と名 無順 七七名無 111列車

事も脱魔統が維持人になって臭れ としてるます。 周家との今度のと にしてるます。 周家との今度のと にしてるます。 周家との今度のと が かったい は いったい は いまない は いったい は いっ

質性はさつと赤酸した。 世代は果れ酸にさう言つた。 を関するとが好もしい」 の事は道に重きを 共を氣壁に振舞ふ低は當然のこと 「툧鱶が大臣那樣に、児那樣の懸生に向つてから言つた。 乳母が子供を抱いて現れ、殿資 と言つてやる處で

に塞地を求めればならぬでせうか 防御の好し悪し、それから祖先の がなの好し悪し、それから祖先の 申されました」を様にて相談下さいますようにと

ない。次男を電域に連れて往つてない。次男を電域に連れて往つておく。それから配先の豪地を関する際にはゆかぬから、別に撃撃する際にはゆかぬから、別に撃撃する際にはゆかぬから、別に撃撃する際にはゆかぬから、別に撃撃がある。それは私が勝つてから根談しや のまゝ一足先きに歸つた。殘さ話し終ると彼は一揖して起上り



(三)

「私達は兄弟でありなから、関系でありなから、関系である。私差が試験に残った。だも古人も「公の質には私たっだも古人も」ないの質には私たった。だも古人も「公の質には私たった」といる。私差が試験に残った す。應性も脳みず彼らに濫燃つた をし、対策ある対策とは軽せます まい。他へば周老師のやらに、対 等に識見のある方が一等で扱つた し、現てこの法脈に適つた大 は斯様な人が及第してゐるでせ

皮肉健りに説ねた。王徳は居られたのでしたね」と、王徳は 行を翻載され、また揺 新選は二人とも間表師の試験的の お選は二人とも間表師の試験的の つてゐたからで、二人は話を難い てゐるうちに彼の心が分つたので てゐるうちに彼の心が分つたので 殿真生が反駁的に言った。殿

「そうです。前伝の學堂、 慰老師 総数ケ月を鑑賞した上、総裁と心が、一度會つたよけで翻知の如く を記事性に転じた。 湯知殿が離る したこと、 愛くなつた 高知殿が離る したこと、 愛くなつた 高知殿が離る がかかかがみ 乾されてゐた。 語は 間日の 酒酷は、前となり、。

高は茂度

融られた。一般前生も数つてはあらとなどが、王家の二人の兄弟から

5 れなく

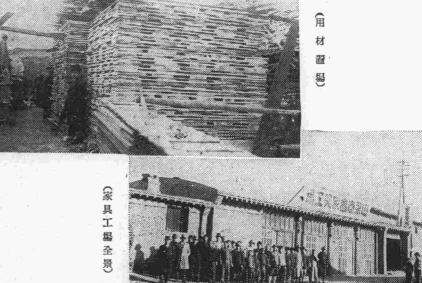
ら勝知殿に會つて、王小二とか黄らですよ。若し継者が家に居たならですよ。若し継者が家に居たな



依賴第夕御挨拶申述度 如斯御座候

居 錘

山 葉 新京興安大路四〇八



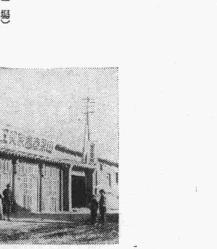
ざる所に御座候兹に改めて永年の御芳情を謝し併而將 に到り候は偏に各位御助勢の賜こ深く感銘感謝に堪へ を見益々其雄飛を巷間に期待せらるゝの活況を呈する 位の御聲援御鞭撻を忝ふし御蔭を以て會社今日の隆盛 常務取締役兼大連支店長こして在職中は一方ならぬ各 陳者私職過ぐる拾數年の人しきに亘り山葉洋行

來一層の御後援を懇願仕る次第に御座候 zm小生今回少 しく感ずるの所有之發心して緣故深き會社を退き道を 去の貴重なる體験を唯 後進に譲り候と共に過

歩以て聊か斯界に微力 備を急ぎ居り候處今日 而して著々これが諸準 を致さんと決意仕候 一の基礎さして獨立獨

先づは乍略儀以紙上御 運びご相成申候間何卒 御指導御引立被下度偏 漸く新裝成つて開店の に奉願侠

電話五五七三番 五.



は襲撃して來ないから氣楽なも、
、な時はやられる、交話では匪賊
を時はやられる、交話では匪賊

は中島戦の「霊・獣とジアシー三世」は中島戦の「霊・獣とジアシー三世

満洲商社のマ

h

現在航空會社で使つてゐる飛行

ころが内南定期航空の庭客機がところが内南定期航空の庭客機がところもあららに一番安全視されてころもあららに一番安全視されて

者はもとより一般世人にも常殊に満洲では……」とは航空

化し、技術優秀な操縦士、豊陽の申す迄もなら天空の飛翔を冒

はあるまい、このマークと思はれ勝ち でも対し、このマークと思はれ勝ち でもあるまい、このマークは昭和七 でもあるまい、このマークは昭和七 でもあるまい、このマークは昭和七 でもあるまい、このマークは昭和七 でもあるまい、このマークは昭和七 でもあるまい、このマークは昭和七

行機の底ほど安全なものは

一人 間の生保に對する認

職道屋の親分にも拘らず空中 しやうとした、林南歐總裁な

一寸航空熱も水を差された恰好

と、同此パンフレット

ト「空の職」

三日大連に際在し新京へ向ふと

の意見も聞いてゐるが、併

平校

氏と共に九日人都熱河丸で來連しの西記視察のため秘書官吉村隆治

取引を行つたことがない。何

社宗の参応であるが生保設立に脈 トホテルに投信、厩二日滅在の上 ・ボテルに投信、厩二日滅在の上

社が従来の營業を繼承出來るか れた場合これと別個の日本側會

で來演。八田満鑑副總裁を始め關

4スエー・ラングレー氏は繭洲

注目する加奈陀

下見に商務官來滿

+

一両 向つて右荒川大鷲

國際賃借のバランスが如何にし

してみない

展覧に動し時國間の動便診響財扱。 が臓印順では日本を伸介として電 が臓印順では日本を伸介として電 が臓印順では日本を伸介として電 が臓印順では日本を伸介として電

シ團一行着

合辦生保設立問題で

矢野恒太氏ら來滿

別國の獨立を否定したものではな 本の仲介を希望して來た理由は満 本の仲介を希望して來た理由は満 本の仲介を希望して來た理由は満 本の仲介を希望して來た理由は満 本の仲介を希望して來た理由は満

電影、史識等を耐寒見壁の傍ら在 水満した日本シンデケート銀行艦 水満した日本シンデケート銀行艦 水満した日本シンデケート銀行艦

くその理由は瀟洲國々幣相場

部の要格と重要協議を爲し十二日一般然は三日間でその間中央部、軍

牽官民と懇談協議を遂げ、

ら見れば寧ろ末葉の問題であつ理するかなどは實際的な立場か

月

五

车

満洲火保統制は

容易で

てない

伊賀火保代表談

一般な優別しているでは、 一般な優く」は単数において七、三一 一記し月間野春數量、低事部、版の活 では、かくて到春は相當の減少を では、かくて到春は相當の減少を では、かくて到春は相當の減少を

計 社 化 他 総 線 10 (八名) 10 (八名) 月 10 (八名) 月

蘭印ミ滿洲間に

郵便爲替取扱を開始

大豆低落り

産

七月末 壁気の 體10 壁気の 器10 八月末 器000 閏10 閏元0 閏10 九月末 町気の 閏10 閏元0 閏10 出來高 五十五車

関との間にも本篇替取扱ひが開始

用臭の不足その他を考慮して他継 収容能力なく残に雨期を怒へ防熱 収容能力なく残に雨期を怒へ防熱

動きは依然輸出不見 て一臓の生氣を見たに

が版に繋せられ

生保は殆ど日本會社が占めて

され始めたが、この問の貨幣問題が再燃して

般的にどの問題から觸れてゆくが新京へ着いてからでないと具

満洲特産に の鮮銀券を如何に處して潮洲國、軍部順と意見の交換を守るのは考へものだ。日瀬合脈生架誌立に鵬し新京に於限りあまり世間が矢

命保険批長矢野電太氏は委員野村行ふため日本生保協會代表第一生 程宮庶務惠長常同九日入港熱河光と中の東郊西村勝大郎氏並陽秘書・

日本側の營業繼續を仄かす

の者が熟知してゐることで內地いふ話もあるがこんな事は現地と一論の度合等のため時期尚早だと 要を含しては

選定、一丁まなような、一日間にある

大豆は軟調 高粱は底堅

各市場休み十日は大連戦闘拳大器に就き戦十日は大連戦闘拳大器に就き戦

来す關係から一應日本の<u>国相場</u>に を対策とせずこれの換算に困難を

鮮神祭陸路路任の豫定であると同氏は新京に於ける會議後朝 直してこの爲善取扱ひをするに至

大連輸出數量 四月中は激減 一取に引鞭き近くポース

支那向は前年の二割

物は區々ながら保合に寄りに伴れ一般較調を告げた、

前年に出すれば七九%の離蔵を呈版狀態にて四、七〇四題に過ぎず 聴、前年に獣比し八%の減少をきありたるのみにて四四、八○ した(單位・・ △田は減)
△田は減)
○「売」 一会「、売」 の手仕舞の實物優勢に下押し昨日れを高値にあと南支筋及び奥地

本財界のカンカンガク で何となく景飛濤と見たは僻日 として知られた矢野さ

〇二、五七三粁、飛行時間四九、

野歌立しても演州の てゐるのだから話さ て日本の倉社の

現在における定期航空路總延後七の最初の會配として奉天商埠地五の最初の會配として奉天商埠地五

「学館塊十六分十五安、紐育一仙二字館塊十六分十五安、紅青一仙二字館塊十六分二字、一五八分一高米支二十五安、米年日一安、大洋百二十七圓二十錢、標金七百九十八舟と低落した、當市は小字館を開け保合を脱せず、定期は乘替商で、一方に商内は振つた

近江屋商店通價部 和山北一條連二五

大連卸相場(計)

商内振ふ

見送る

質物嵩み

入輪 内地安を移し

◆定期の電台 次引 新付高値 安値 大引 新付高値 安値 大引 連知 が高値 安値 大引 連知が高点が高点が高点の 上来高、規定六百二十九萬圓 出来高、規定六百二十九萬圓 出来高、規定六百二十九萬圓 一時 10回2 11回0 公司の 十一時 10回10 1110 公尺の 日本 10回10 1110 公 日本 10回10 1110 日 日本 10回10 1110 日 日本 10回10 1110 日 日本 10回10 1110 日 日本 10回10 日 日本 10回1

▲麻袋 出来不申 本麻袋 出来不申 本麻袋 出来不申 本藤袋 出来不申 本藤袋 出来不申 本藤袋 出来不申

學型 选 的 關榮

入院趋時

X纯完福

品質升目確實 配達迅速 腎臓・血壓及婦人内科肺尖・肋膜及慢性諸病

白米下落相場は

連鎖街の問屋大島屋 電三二一〇〇番

X光線科科

神新陳代謝病 隨科科科科

御 注 意 和 注 意 一、御魔却の場合弊店へ御持参下されば直ちに代金引換に買 一、御魔却の場合弊店へ御持参下されば直ちに代金引換に買 受けます 一、沿線各地の御方は四平街朝鮮銀行へ松尾商店へ質却する ものと記し御送附下されば代金は朝鮮銀行四平街支店より 送金致します公債御發送と同時に弊店にも公債額団お記し まっと下す。

銀 副中枚 一、光光、原素側 一、光光、原素側 一、大心中 四、大光、原素側

為替相場

功勞公債高價 学グイ 質物問屋 松尾 支店 電話五九九番 電話五九九番

大連際宮町三竜神の角出

『上海九日發』倫敦銀塊安きもカナダ銀塊先物高のため明日銀奔騰 見越しにて支那人弗竇氣となり標 金乘苔輔擴大に買上げられたるも 本日標金一千本の竇物ある為め輔 本日標金一千本の竇物ある為め輔 小され引削後に慶屋取り一巡とな る、為替は北方筋圓一四三、八分 の五費り强保合

海標金

七八九九元元七九九元元七九九元元七九九元元七

皮 軟 梅 性 唐 卡 素 病 疳 病 疳 病

まま町元 電話にいた 一大 語券公司 加取引所仲買人

株界三十

(四)

論議するのは不得策

國際貸借のバランスが問題と

三荒川、竹內關東軍顧問來連談

た方法が考へられればならない た方法が考へられればならない て世界的な状勢に添つ 心を置いて世界的な状勢に添つ

神戸日米 三回 元弗三分三 元弗三分三 元弗三分三

大阪期米 前編者 前編引 中 限 10.01 10.05 中 限 10.01 10.05 日 限 10.01 10.01

横濱生糸 限月前一節前二節 五月 20100 2000 六月 20100 2000 七月 20100 2000 七月 2000 2000

滿洲國通貨問題を

務、芥川神戸海上專務大阪海上取締役、伊賀本火保協會代表、向つ

埠頭着荷減少

松花減水で輸送つか

倉庫滿腹收容力な

八

(九 日) 銀塊及為替 (九 日) 日間 先物 三片(公分) 三片(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公分) 三川(公元) 三元(公元) 三元(公元

大阪棉木 大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花

シャム舞踊團

延期の已むなきに至り約半月遅れ来得なかつたため入所期日も遂に

営の養蜂實習

業教育等一概に言へば討盟の一・せればならぬ、農業その他の産

あることは勿論だ

訓練青年の入所

中旬ころに延期

中堅青年養成の意氣

原因 があるからこれを一 るためにも種々の對策を講

『哈爾湾』復江省金井總務廳長は

金井總務廳長視察談

要に借家人の客棚的情勢が主因を要に借家人の客棚的情勢が主因を が地方事務所が不良家屋に難してなしてあることは野はれぬ事實だ

出入苦力激減出入苦力激減

の實施と中國反意の入禰活力阻止

に依るものと見られてゐる

公三人組の強盗押入り現金八十

龍銅線祭局で嚴重取調中である。それはない。

長距離競走

北安に强盗事件頻出

奉天省公署が實習所

り一喜一愛する一般農民大衆には 「本天」
 「「本天」
 「「なると
 」
 「「本天」
 「「なると
 」
 「「本天」
 「「なると
 」
 「いて
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 「なると
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 」
 「なると
 「なると | 北安 | 龍江省龍鎮駅公署では去 北安の植樹節 #に努めてゐるが更に同夜半北安 紫電間では非常繁戒をなし犯人速 安電影では非常繁戒をなし犯人速

あり或は同一犯人ならんやと目下「三着 飛行材料廠中島又市螺統一名を驟坪順死せしめた事件」二着 池田洋行中村定美迎中抗核一人の端人が離り出で右 物間山純男

一着 二十二分三十九秒鐵路局

銃後に光る純情

コイング

慰問に添へられた手紙に

駐屯軍の将士感激

技術優秀者

るへ三名、撫順署

拔擢主義

國鐵滿人從業員

1

眼

竸

專

門

店

吉野京

清

眼

堂

種

大阪市西区教上通一丁目

新京日本橋通・電話区四乙五番

式順に依り式戦を行ふが式後駆公子前十時より駆公者前間場で左の 今殿右苗木殆と鄧着したので九日苗木繁備の都合上延期してゐたが

(吉林) 吉林賞公客では去る二 日皇帝陛下より献任官以上の官 野に賜つた謝朝の各駅長に點す の意識式を十日午前十時より省 各々摺集電報を渡した公署に於いて行ふ事となり五日 詔書宣達式 らの常地駐屯軍宛の慰問品に郷情らの常地駐屯軍宛の慰問品に郷情

いて絵奥規定に從つて合理的統一統型問題に關しては鑑路都同にお統立に関しては鑑路都同にお

匪賊ご復讐戦

戦の響に

圖寧沿線に匪賊

何れ

も掃滅し盡さる

百餘の匪團來襲せるも同匿の

近く新京滿鐵運動會

大月二日午前七時から西公園トラ

ス假営業

大三(合名会社)

京

出

Fi

ちて多 無いないでは、これによりて公平なる。 を各格局により夫を給果を異に してゐるが、大艦高率なものも低 変なものもその撃艦、按幅の優労。 変が、大艦高率なものも低

あるので慎重態度をとり方針を定し、最善の努力を搬つてゐるが衝突が一般時代からの態例、國鑑の經業員を表すの歌の。 育ちのお掘さ 印那で配がショボショボ の題子塞新京は抗桃の降 さん歌、窓いくでブ

を実大林組では右の人物を形置し かゝつたことが戦明、蘇家庇署で かゝつたことが戦明、蘇家庇署で 鳳凰城署異動 [鳳凰城] -







午後一時より開催されるこ

Ŧ

國都の新築を繞り

金融の廻轉も至極順調に

萬圓也

舊家屋の改築時代

新京を遙珠し國歌驚唱、萬歳を三 職して歌脱したが非常な意義深い 唯しとして歌歌深さものあつた (富真は式場)

助上の都合に依り辭職し郷里に歸 解務めた宮主井上香木氏は今般一 解務めた宮主井上香木氏は今般一 は新京』新京龍社は皇下境内の欧 上の都合に依り醉職し郷 井上官主歸省

近年氏で廿日晩着伝の摯心である。 彫都武勢心態震山神心の宮司極村 があることになつた、前後氏者は

響口】警口港經由の出入苦力の

副総出動の下に北 樹植、記念撮 【奉天】 水る十日午後二時より

警務聯絡會議 二十五日に延期

の復興對策 女子・マン あり流い書意でなく趣館の経鬼で いまる 悲戯 ツカリなついてニュー (契5なが 戦道部) 附近において鑑道機幹上 に迎へてゐる (の子供で は近部) け近において鑑道機幹上 に迎へてゐる

満洲に逃避

元司法主任捕はる

では金正信公三一一個では金正信公三一一個では金正信公三一一個である。 者に引渡された、同署に於て取

た。一往復で所要時間一時間特金國際の時、賦予設年前十時、午後三時の財から、一時、賦予設年前十時、午後三時の財が、一年後一時、一年後一時、一年後一時、一年後一時、一年後一時、一年後一時、一年後一時、一年

昭華食品株式會社の地には最適品

會像想されてゐる

蘇家屯の詐欺

家田に移轉するに付きこの移職沙河口工場が二ヶ年計畫で

から怪人

の强盗

殿殺

员出







皆様の 南話三四四王二番

選携帯と經濟と經便とを

(HE)

◆糸…竿用人造テグス二十間物一上十五圓位まで

一五銭─五○銭

の内に毎日お米のとぎ水でお

一流の筆師の作になると

ん。道具を細く分けて見れば

先づ されから始まるキス

□間半二・二○錢一三・

・竹枠(糸を卷くもの)…二銭

年四○鏡—九○鏡、二間六五鏡 中四○鏡—九○鏡、二間六五鏡 一一・五○鏡、二間六五鏡 一一・五○鏡、二間六五鏡

但し一本等なら一間の五銭から長 さに從つで四十銭低まで、また東

Ħ

の健康法は仕事に疲れた人へ、朗らかに呼びかけます。なこの頃、大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸ふ野趣満々なこの頃、大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸ふ野趣満々 るといはれてゐます。そのアカシアにも、

共に太公望の舞臺が展開さ

コップ、バタカップ、ガラス順、摩擦しましたら、あと潤水で洗つコップ、バタカップ、ガラス順、摩擦しましたら、あと潤水で洗つって、バタカップ、ガラス順、摩擦しましたら、あと潤水で洗つ

下ン・ハーデイング 本にも二、三主演院なが、あまり人気が出た が、あまり人気が出た をいるが、それほど良い

ないがあるにも現れてゐる-その平凡さの中に、更に、そ その平凡さの中に、更に、そ

液・揮旋油など使つて流びますが、水にカット・グラスのごとき高級

のであつて、且つ裁判所の許可

取るが爲めにはこ

せるもあらうが、アンせるもあらうが、アン

依るのであらう。若

分の鑿の深さをはつきり出してゐ

彼女は、かへつて自

日虹會の女流三

「影」に彼女の概手役をして出

味です。 と窓ちバチリといつて となるのが、この壁のベットの弱。 です。 そこで、すべてガラス器具に對し

(四) すべて取扱ひ萬般に亘つて などは中に腹端を解いたもの、小(二) 急に合さない は他の器具など重ねない などは中に腹端を解いたもの、小などは中に腹端を解いたもの、小などは中に腹端を解いたもの、小 番手軽でいっでせる。 脱磁を脱脂 は含ませて隅々まで飛ひ、あと なめし革で拭きます。 日の細い紐

ばよろしいのです。 (寺島由松) が轉籍地の市町村長に国出づれ

に、細い

を持つた人である。

道具一揃ひごの位で出來る

未經驗者への釣案内

用しますが、これらを布へ付けて「重ねないことをお忘れなく。 は上の注意をおろそかにせぬこと は使はないものですから一つ一つ は上の注意をおろそかにせぬこと は使はないものですから一つ一つ 庭 します。なは、からした品は平常

/煙幕/で霜害豫防

これこそと思ふ夫

居るだけです。また月難を脱離よ 総合せしむるものであろ。 「たっ。 断窓は月難町月主となつて これに入れ歯を一種のブリッデですか。 断窓は月難町月主となつて これに入れ歯を一種のブリッデで これに入れ歯がハンガ 総對にはづれない入れ歯がハンガ なるのださうである。 はづれない入れ齒

ねて行つたが

小島夫人を訪い小島数二郎に 職が、第一町に 小島夫人を訪ら

戸主は分家できるか

どんな手續をとればよいか

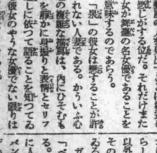
問

、洗煉されてゐる。踊

三)、一般になるのは短い方だけで み、その輪へ短い方の端を通しつて來た輪を前の指先へはめこ しかも数は決して汚れません。 ないか、最近観覚 ぐ隣に居を構へて まつた、といふの と並んだ隣家の門

優である。この人は難りこそ、

を製した機関の人を見出すた機関の人を見出すた機関の名女に関するのであらるである。 ではない外継点の名女に表示されない人表である。 ではない外継点の役女は表示されない人表である。 でも、「影」の役女は表示されない人表である。 でも、「影」の役女は表示されない人表である。





七三號)安東

む傷の家

田越山

達、南京艦の値をせりあげやこのごろでは味を占めた南人 平均 一匹二厘、南京をは一匹 に歩く。興味ある虱の相場は人部落の間を虱、南京鑑賞ひ 底足りつこはない。そこで 高いものではありませんか 弱に置るといふからチ 洲

風や南京都は書あつて益なき ものといふのが常識だが、こ ものといふのが常識だが、こ れが随戦になるといふ世界も ある、満洲テフスを媒介する ある、満洲テフスを媒介する

教育――教育の普及を は粛洲國の女化装彦、 既に標準語として

五

アカシアの花咲くと

ターへのめばるグルあいなめが釣れて、ンになりました。ロシア町あたりではもうま

◆…生かし網…並一五錠一二五錠 上七〇銭前後 ◆…タモ網…一五銭一二五銭 ◆直具(針、糸、枠等)入れ…二 ○銭一二〇銭 ◆エサ箱…五銭一二〇銭

☆ は一時間二十銭、一 これは影響の敷と交渉によって数

分家出来ぬ

但し方法はある

洋諸國に於ても、その 東京である。日本に で、大事性は、自ら別 で、大事性は、自ら別 である。日本に の課題である。日本に

桝一杯五銭から十銭位まで

すか。(大連・TO生)

ではない、そこで入野となる

は平生から登成してゐるわけ ひる日があるが、風や南京配研では兩者とも一日干匹を用 殿に用ひる南京舞等、満郷

さらな。どちらが寄生器なの

うとかいつ てゐるのがあ

か分らない。

硝子器具の

第七強ひて家難を膨脱したい事

を逃することは困難でありますでもありませぬが、手側上目的情があるならば、方法はない認

即ち貴下が滅六十年未滅ならば

畵

彼らしい情緒的な描言

戦所の許可を得て隠居をして

手入れど保存法

食卓用品心得帖

八十八夜が過ぎて、いよく〜釣天狗待室のシーズ

待望の。釣シ

海は招く

太公望黃金狂時代

訪れてきた

庭

◆學校行事【十一日·十曜

#10

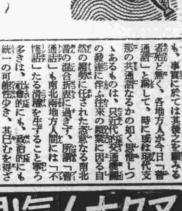
を動物室などから飛ぶに南京 と動物室などから飛ぶに南京

寄生虫相場

馬鹿にならぬ

の差こそあれ、許交の別は例ある

語制定の緊急



心させた大ギ

…和田邦坊

て最も貴いものは何

つる物語(學界の卷)

げた身だつたが早くも遭命の嵐の中 の住人すみれは高年弘治に身も心を 果然大評判となった問題の小説。19













































われ美しき復

警の鬼たら

原離は民後弟だけで兩親もなく、 民職は民後弟だけで兩親もなく、 民職は民後弟だけで兩親もなく、 民 りません。現在親子三人で厩職と私は厭癰で出生しただけで何も知

を職にし妻になる大切な部分にで十數通りの結び方があるといで十數通りの結び方へ長いのを替きつけて出來た結び輪へ長いのを職から通す方法はネクタイのを職から通す方法はネクタイ クタイは現在知られてゐるだけ **ネクタイの結び方は一通りと心**

◆無難…一五錢—一。四○錢(角型、二重蓋)—四。○○(內地型)

主でも現在の機なれば分家出來すて居ます。分家したいのですが月

界元證明は直送役場より取り寄せは何の音沙汰もなく、戸郷勝本や

これは!思ひつき!!

胴卷の近代化

な語―。 (高異の迷った

が考疑されるが、 が考疑されるが、 が考疑されるが、

行のデップ・ファ で。東海道五十三 次の道中になくて 次の道中になくて なならぬ膨緩を近 はならぬ膨緩を近

話られてはいけま

車パンドなど、新 る伸縮自在のゴム る伸縮自在のゴム

出した秘密のバン ここにはアメ

を入れようと標式 を入れようと標式 大きな相で五千個 大きな相で五千個

メイレンの市場へ

案・秘密のバ

新生物製劑の擡頭

月 五 年

(N)

便秘であります。便秘は傷の障碍ではあります に止らず、脳神經を犯して、頭重、倦怠、不眠が、その害毒は単に便通の不通といふことだけ 等を來し、或は皮膚に蕁麻疹、ニキビ等を發し ては血壓亢進、血管硬化を促進し、 ては容色をそこなか原因となり、妊婦にありて は姙娠の進行に障碍を及ぼし、 ては屢々略血の誘因となる等、害毒の及ぶこと もつとも多き賜疾患は

理と樂理に立脚する、今までの樂劑とは性質のかはつたものが効果

鳴治療學の進步に伴つて、腸治療に用ひられる樂劑も、新しい病

敏速にして、 でありますが、家庭に於けるそれに併用 する療法としては「若素(わかもと)」の服 用が推奨されます。醫藥を併用して何等 かに専門家の治療に委ねべき 過りなきを要します。

次 思 消化不良

ない

186

良は大人のそれに比して急性的經過を採 り、且つ全身的の築養並に機能障碍、發 斉不良を伴ふため、症狀も屢々重篤に陷 り勝ちであります。從つて、その魔置る 同じ消化器障碍でも、乳幼兒の消化不

適

血、並に姙婦浮腫を解消し、兼ねで胎兒上し、産後の衰弱を恢復すると共に、貧生し、産後の衰弱を恢復すると共に、貧生し、産後の衰弱を恢復すると共に、貧生し、産後の衰弱を恢復すると共に、貧生し、産後の衰弱を恢復すると共に、貧い、 婦衰弱 後衰弱。對计分泌不足、妊婦脚氣

惡阻。姙娠中毒。浮 書案(わかもと)が有する多量のグリコーゲンとビタミンBとが、肉體精神のコーゲンとビタミンBとが、肉體精神の口を表にかけるビタミンBのに日本人の白米食に於けるビタミンBのに日本人の白米食に於けるビタミンBの作用をなす。

に、レシチン、ヌクレインの如き頭腦、 他用を圓滑ならしめ酵素と相俟 で、ルシチン、ヌクレインの如き頭腦、 で、ルシチン、ヌクレインの如き頭腦、 で、ルシチン、ヌクレインの如き頭腦、 神 勤勞・精神勤勞の疲勞 經衰弱 頭腦榮養 長時間不眠症 神經衰弱。

結核性衰弱 血◆腹膜炎。羸痩・微熱・盗汗

せしめ勝胃粘膜を全面的に强壯ならしむで、同時に種々の相異る胃膓症狀を消退與へ、叉腸内殺菌清掃の作用をなすを以與へ、メルモン、其他の綜合作用により、メルモン、其他の綜合作用により、数種に亘る消化酵素、助酵素、ビタミ 結核・カリエス・貧

右の諸症に 老素(わかもと)を授興すれば、人體必須の荣養素を偏頗なく網羅れば、人體必須の荣養素を偏頗なく網羅ルシウム等をも包含せるを以て、優秀ないシウム等をも包含せるを以て、優秀なる治療効果を發揮す。 勞

乳幼兒 消化不良。綠 兒脚氣。發育不夏。人工榮養兒

虚弱 乳見の發育を健全なFしむ。

膓

諸症

過多症・減酸症・胃臓カタル・胃酸

胃液瘍・食欲不振・便秘及下痢胃下垂・胃アトニー・胃擴張・

意見の後前歳十・量日五廿はに人大は錠百三 歳三・量日十五はに後前歳五量日十四約はに る當に量日十六はに後前

圍公芝市京東 元 賣 發

會の兒育と養榮 離

有名乗に類似品の續出するは免れぬ所で若素にかかもと)もその例に洩れず諸種の類似品が整定、場合の類似品の使用を勤める栗店もあるが、最も醫藥的價値に富む特殊なる菌種を專賣特許下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が整下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が整下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が整下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が整合、一つ工菌劑或は酵母劑なるが故に効果に差異なしとである。一つ工菌劑或は酵母劑なるが故に効果に差異なしとである。 代用薬なし

「若素(わかもと)」に

感しいものである

新してをり拉致者の都識も今明日 中華設局への入電によれば彼等は 今や我軍の膨膨急なるため膨脹に 今や我軍の膨膨急なるため膨脹に

以十名を拉致した匪賊一味はその 云る二日京圖線列車を襲撃し人質。

原醫長歸連す

中の見込みである

と云つて車輪が軌條用と

職けて衝路を突走つて

に供することしなった

吉郎、同松山利明の兩名は重傷を一

州衛戍病院に収容手當中であつ 州衛戍病院に収容手當中であつ

Ħ

が、この戦闘に於て一等兵本船域 たがその甲斐なく八日窓に死亡多大の援獣を襲へて四戦せしめた 対流の大の戦闘と突戦一時間半敵に うた一等兵湯本濱吉はその後親 に十分後南南方五里午餐子附近に 荷ひ同倉・電新十郎は郷鶴した

大連、甘井子間の旅客輸送に

大連體院で子宮戲の手術を受けたが再続し昨九年九月十九日熊び入院現在に至つたものであるが、本つた順をみて病室の窓から浴衣がけのまゝ職足を手規で練つて飛峰り自続を選げた、同女は昭和八年一六八科理店營業小久保松太郎(『ご宴きみ(『心は中央電護婦倉派出所附続人連瀬ツル(*ごが便所に立九日午前十時五十分市内鑑摩町演職大連警院四階婦人科察二房室十九號に入院中の市内沙河口大正通九日午前十時五十分市内鑑摩町演職大連警院四階婦人科察二房室十九號に入院中の市内沙河口大正通

見る

テレビ愈よ實用化 社長の言明から 二年越し入院中の婦人科患者が

自殺

厭世悲觀の結果

刊明したので九日

た事質があり附続程護船が同女の腰をさすつてるた際用便に立つたほんの膨かの時間に飛降りを洩行數日前にもベッドから降りて首をくゝつて死ぬ歳似をしたり今朝は經文を前に残數で首をしめたりし 数日前にもベッドから降りて首をくゝつて死ぬ寅卯をしたり今朝は經文を前に殊數で首をしめたりしキ四月中旬頃より数録甚だしく食事も鑑念不能となり左脚立たず生の置みを失つて既世悲観してゐた

ら研究施療患者の取扱を受けてゐた。「一十年的結婚、十九の娘を頭に四人の子を暴げて居り本年二月二十日か简は同女は主人松太郎とは二十年的結婚、十九の娘を頭に四人の子を暴げて居り本年二月二十日か

C · Aではテレビジ 能性を確認、 意々一 意識を開始すること 主続者の離上 エ · C · A 本は最サーモ

ヶ年半以内に

命せられた新

は負けてはるませんが質用化とか、勿論日本では決して研究であ、勿論日本では決して研究で

行中の列車に飛乗って了った

快よく汗ばむ

今日児の頃

夏の御支度に輕快な 優秀生地豊富に取揃

へて御座います

てみるが、今後

世界中の

体温計

つと列車は急停車して二見を引大騒ぎの揚句、係員の合脈でや

赤ち

向

夏

の御洋装品

ました

大連連鎖街

可愛ら

後したが、あとで膝の気氏ツ

この秋から使用

州

の上も道路も

自由に走れるカー

してゐた中間君を出獄後暫く

先常外な結婚語が採上つた。その失数機関丸で再び渡米するがその矢数機関丸で再び渡米するがその矢 川畑野平氏はかねて駒山翁を貧魃の前の刺客中職民一つ三者であるの前の刺客中職民一つ三者である

和

月 五 车

なんですの、そんなことと婚を申込んだのよ、私まだ子

入連醫院四階から

「新京電話」新京院受賞は六月 を許されい現代となつた日本の試出で最も職職者が力を注 とするもので、院空蔵書に先立ちや回の蔵書で最も職職者が力を注 とするもので、院空蔵書に先立ちを中心にして大々純に行はれるが 知事 におった日本の試出する。 これを表している。 「一、十二、十三の三日間新京市 空蔵力を とするもので、院空蔵書に先立ちを中心にして大々純に行はるが、 これを表している。 「一、十二、十三の三日間新京市 空蔵力を を よる こくおばれて来た日

とするもので、院会演習に先立ち きりと認識させることになつて居 きりと認識させることになつて居

が裁判所順では贈收膨脹保管告とが裁判所順では贈收膨脹保管となった。

(可認物便郵種三集)

純情に絆され申込を容れる

米國から歸つて擧、八か

わが航空威力を

して居り適化よ

電話線を切断して通風で館に降らしめ、ス整整を企画し荷搬中なりとの意報に接した繁か間では緊急。【奉天電話】九日午前九時遠遠化概策七島に紅軍賠二階約二百名が現れ山遠バス線の總局使用の電信

ス襲撃計畫の情報

着荷

投京薄床

置

生花用量・投

入花 建 端

置物類

花多

賣販價特

民衆に示す

新京中心の防空演習

後の健態作業は八日機能二酸の活態出一名、正年惣出二名、死艦牧路五十名である最初の入坑者九十七名であつたが右を除く四十四名は今なほ生死不明で坑内残存の調だが爆霰

實業、

滿俱兩 ム遠征

でも質現される事は間違ひ

御贈答に御土産に好適品揃

器·金屏 風·掛

箱•附屬品表装漆器。陶磁器

器物被花

店賃百の品術美

前社會斯瓦福盤常市連大 番八七六三。二階 店約特社會子硝滿南

の諸氏に難しては既に保護に決定し総等局側の右に歸する意見も九日中に決定する響で九、十兩日中には右十氏全部保護になるものと

縣

共匪

野島ご判明

の正體

東京九日麓園通」所翻郷二の五十萬元事件は山本英之角こと開本 下口X"もが抱滅したこと開明、既正口X"もが抱滅したこと開明、既正口X"もが抱滅したこと開明、既 五十萬元事件大腦團 また満俣テームも來る十二日奉天 一日十六時五十分經別期で赴奉す 一日十六時五十分經別期で赴奉す

は去る六十五歳會に (権 甲(出羽嶽)(金) 東京大相撲 夏場所初日取組 **慶場所初日取**

放送時代へ

際校を轉がるそうに配降り終って別度計画に、 で別車はボームを滑り出たところ、 等級議めると思つた夫婦は で発達はボームを滑り出たところ。 で発達されるを滑り出たところ。 で発達されるを滑り出たところ。 で表達はボームを滑り出たところ。 で表達はボームを滑り出たところ。 で表達は、

の危い動富

原思ひきつ

夏の變り白生地

承新新版 EL I

干潮(午前) 二時三五分 各地温度

大連賞業脈では十日九時酸あじあた。大連賞業脈では十日九時酸あじあ

報訊 (日十) 曇々時

晴風の南

一、方法、皆様のお出掛けになる明日當伊勢町寛店の前をおとうさん、おかさんおにひさんなどと一緒に御通りの領子様報ひ度左配方法に依り御子様方を喜ばせ繁華祭ご致します。 大田 大連神社祭典に際し平素の御愛顧に暴に内地送りて二千貫の林檎を差上ましたが今回大連神社祭典に際し平素の御愛顧に

遺鹽番號は四月十二日の本紙に掲載致しますから御受取下さい 「薫匁、三等三本同上一貫匁都合六本の當り籤を抽籤で定め現品差上げます 此袋の中に福引券が入つて居りまして百袋を一組とし一組毎に **一等一本図光四貫入 一函、**三等二本同上

THE RESERVE OF THE PROPERTY OF 大連栃木農場信息町市場販賣所電話二二四四〇九

夏の高級京吳服も品揃、西洋製明石、訪問着、紹長橋神等

大連大山通 TEL 2·4342 屋

人質の奪還 一兩日の中が **唐
國
全
く
進
退
に
窮
す** あると 期待される新京の 二科會展と講演會

三新聞社後援で奉々しく開催

【哈爾濱九日發國通】九日當地入 室伏工務員ら

電によれば七日午前九時頃歌安東 北方二道河子において國道二事中 ・ 配置通影工新員室伏三雄氏、藤田 た國通影工新員室伏三雄氏、藤田 た國通影工新員室伏三雄氏、藤田 ・ では、一道河子において國道二事中 **僅に三名無事**

全滿の精鋭すぐつて

今秋・初の内地遠征

けふは沙河口神社で相撲大會

【札幌八日酸國通】 茂尻炭坑螺葵

實業球場改造に

特別援助金寄附

大連水曜會は二千圓を申込む

| 東京八日麓関連 | 右テレビジョンの鷲用化に就き我國テレビジョン界の徽崎山本忠興博士は左の如く語つた 間も なく實現

で完成質用化を置つてゐます、スポーツとも云ふべき有樣で、スポーツとも云ふべき有樣で、

い滿暹親善

舞踊團一行を歓迎する國都

電 國々残の上に配る始終期を使しこ を の 選ぶの酸者を 調か、何れも この好意ある 観音に 前足しき り 雨 の 選ぶの酸者を 調か、 何れも



THE STATE OF

の方についたのだに対かしいというとうできないというとうというとしていた。

級サラク 油

大連浪華洋行滿渊視察園一行

以て充富する智で過数來後機動

義捐金を贈る 九日國務院會議開催

日本墨歌に建つた大影災 ・ の被害に転し悪く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ 下には軽く自動なあらせ ・ であるが、満 ・ であるが、 ・ であ

その他の向きもい

べつ」あり近く

一新することで

六月二十三日午前十時より大連▼第一回相撲小會優勝盃事劃裁定▼内地選征 十月中旬ー下旬の鎌半より減離社員クラブ製士優で▼内地選征 十月中旬ー下旬の鎌

滿洲相撲聯盟の事業計畫決定

(九)

は更にこれを急退し八日午前四時 宮内府、臺灣へ 者は日本人二十八名鮮人八名でおは日本人二十八名鮮人八名でお馬事生存の模様である、目を部無事生存の模様である、目を部無事生存の模様である、目の別様である。ところによれば拉致 がて岩太郎が歸つて來たらし

更ににぎゃかになつて來た。

(白曜金)

幸役

KANEKO

(價格低縣)

各地藥店

て、しつつけえ婆アだつた」 と初音は胸をといろかした。

徽毒、潜伏徽毒

りは情しくねえといって物た。思 りは情しくねえといって物た。思 りは情しくねえといって物た。思 がけねえ儲け物ですぜ線分、そ の美しいの何のつて、失概さんす 「あんな婆アを人質にしたつて始まらねえやな」 まらねえやな」

おいたと想ふと、頭は冷たくみ えて来た。すると、たまらなくみ であると、だまらなくみ だまらなくみ に身をもがいて

事だ、と奶音は観念の眼を閉ぢた 性方がない。根手の出方を待つよ がが、いくら無つたところで、 だが、いくら無つたところで、 だが、いくら無つたところで、

であるだけだつた。 下はつて、その上に流れてある光りの筋を睨んでゐた。 の筋を睨んでゐた。 ではめられてゐた。皺太達にさら手をいましめられて、猿ぐつわま

「なアに、手削速と行き選びに、 「えつ」

か、俺アまたさつきお袋が んな嵌くちや婆アたア事が 法。 (78)サン (バラオキシメタアセチールアミノフェニールアル 號注射ニ比肩シ、

道はア

子

之

(+)

創製ニ係リ其効果六〇六

しました。先をくなつて、野郎、「懸念怪ら巴之助の奴アとり歌がとした財の奴アとり歌が いちはやくづらかりやアがつたし っそ、その代りにやア親分、い」 岩太郎の聲は凝つて酔つてゐる 0

タンジー口紅ならば塗ったさ見ねぬ自然のお唇をたさ見ねぬ自然のお唇を 費女獨特の答色に最もふさわしき色に自ら變化す タンジー・シアトリカル は渡目の数あり、タンジーは 自然美を齎らします。 男性の賞譜

ENDS THAT PAINTED LODE ムラー マツクリーン会社

運動力の衰源となるグリコ

成分

長楽學博士西崎弘太郎先生指導創製)
もつでをります。(前内務省衛生試験所に强くする永の驚くべき作用と、成分をに張くする永の驚くべき作用と、成分を

、澱粉類等の消化を挟けるアペプチターゼー、電影では、胃鴨態との運動を活躍にし、胃鴨態と

部品薬 学會式株事商資票 (内ルビ正明) 三四島原區協立協議 一環

普

賣 本

鵩

準

社會藥

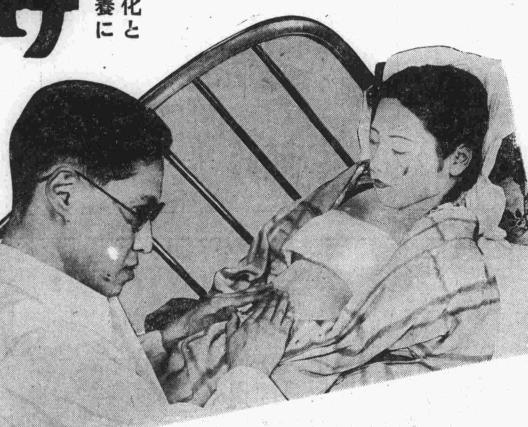
元曹强

店理代



代題名 日本寶樂株式會 社 本天市加及町 發更元 萬有製藥株式會計

.にか朗を活生てしく强を膓胃、



さ事投に者病でれか奪に箋方慮の家際はンミロサ利病費。 すまり居てれる変販もに店薬名有の内市がすまり居てれ

食事が進まない。食物を 食敷が無くなると、顔色が悪 く身體が傷くなる。 眼に見に 醫者は言

つと押寄せてくる。]: 便秘等の症狀を 階者は言つてゐる。

健康はまづ買から、 弱い方は勿論、發育時期のお子達 ると、凡ゆる病氣が一時にど

もあります、香り高い高級煙草は貴方方の氣品を煙草は嗜好であり趣味であるご同時に社交の具で

一増高尚ならしめます

河海 き出づる報智の源泉としなる





いるく サラツと軽い 爽やかに ゆかしい整髪美 朗らか 洗落ち心地 青。

三十銭、五十銭

能容增远 幾層倍一

頭髪が綺麗に整つて、

に夫丈らか髪毛 にかやなし ドーマポ性物植純るすくし美

でもある

回本

おなたの胃袋は、最早さら

総くなり、元氣は衰へて、何とな

华芝医院

産婦人科・

胃

つつ

て

わ る

は 電ニ・七〇二〇番イワキ町口活館トナリ

京京·本郷 京京·本郷

商

店